

2022 年 北海道

ひとり親家庭生活実態調査 報告書

北 海 道

目次

I 調査の概要	5
(1) 調査の目的	6
(2) 調査の主体	6
(3) 調査の対象	6
(4) 調査の時期	6
(5) 調査の方法	6
(6) 調査項目	7
(7) 回収率	7
(8) 報告書を読んでいただくにあたって.....	7
II 調査結果	9
1. 家族の状況	10
(1) 世帯の状況	10
1) 世帯類型	10
2) 回答者の年齢	10
3) 世帯人数.....	11
4) 子どもの人数.....	12
5) 子どもの学校段階.....	12
(2) 健康状態	14
1) 回答者の健康状態	14
2) 子どもの健康・発達の状況	16
3) 他の家族の健康状況.....	17
4) 過去1年間の病院や歯医者を受診について	17
(3) 住まいの状況	19
1) 住宅の種類	19
2) 自家用車の保有	20
2. 仕事について	21
(1) 就業状況.....	21

(2) 働いている場合	21
1) 雇用形態.....	21
2) 仕事の種類.....	22
3) 仕事を見つけた方法.....	22
4) 仕事についての悩みや不安	22
5) 仕事の継続に関する希望	24
6) 副業について.....	24
(3) 働いていない理由.....	24
1) 現在仕事についていない理由	24
2) 就業に関する見通しと希望	25
(4) 最終学歴、就業歴、資格.....	26
1) 最終学歴.....	26
2) これまでの就業経験	26
3) 資格.....	28
3. 家計について.....	30
(1) 家計の状況.....	30
1) 家計の赤字・黒字	30
2) 食料、衣類、暖房費の支払い.....	30
3) 未払い、滞納の状況	31
(2) 世帯収入	33
1) 世帯年収.....	33
2) 世帯収入の内訳.....	33
3) 児童扶養手当の受給状況、住民税の課税状況.....	34
4) 貯金について	35
5) 借金について	36
4. 子育てについて.....	37
(1) 子どもの世話	37
1) 就学前の子どもの世話.....	37
2) 小学生の子どもの世話.....	37
3) 病気などのときに世話を頼む相手	38
4) 子どもと一緒に食事をとる頻度	39
(2) 子どもについての悩みについて.....	39
1) 子どもについての悩みの内容.....	39

2) 子どもについての困りごとや悩みの相談相手	40
(3) 旅行等の経験	40
(4) 子どもの教育・子育てに関する支出	40
(5) 子どもに期待する学歴.....	42
5. ひとり親家庭になる前後の状況	43
(1) ひとり親家庭になった理由.....	43
(2) ひとり親家庭になってからの年数	43
(3) ひとり親家庭になる前の時期に経験したこと	44
(4) ひとり親家庭になる前後で経験したこと	44
1) ひとり親家庭になる前後で対応が難しかったこと	44
2) ひとり親家庭の生活をはじめる時に相談、利用したところ	45
3) 市町村窓口での手続きや母子・父子自立支援員との相談で経験したこと	45
4) 市役所・役場などから受け取りたい情報、相談したいこと	47
(5) 財産分与	47
(6) 養育費	48
6. 回答者本人のこれまでと現在の生活.....	51
(1) 回答者の親の居住地	51
(2) 親からの援助	51
(3) 親以外に頼りになる人	52
(4) 社会的な偏見	52
7. 制度利用	54
8. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響.....	56
9. ひとり親家庭の現状について日ごろ感じることや、福祉制度についての意見要望	58
III 資料編.....	59

I 調査の概要

(1) 調査の目的

道内のひとり親家庭の親の仕事や家計の状況、子どもの生活等の実態を把握し、経済的支援や子育て支援、就労支援などのひとり親への支援策等に反映するための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査の主体

この調査は北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課が、北海道大学大学院教育学研究院付属子ども発達臨床研究センターに委託し実施した。研究班は以下である。

松本 伊智朗	教育学研究院教授	同センター長	全体統括
鳥山 まどか	教育学研究院准教授	同センター兼務教員	調査設計・集計・分析
川田 学	教育学研究院准教授	同センター兼務教員	調査設計・集計・分析
加藤 弘通	教育学研究院准教授	同センター兼務教員	調査設計・集計・分析
上山 浩次郎	教育学研究院講師	同センター兼務教員	集計・分析
大谷 和大	教育学研究院講師	同センター兼務教員	集計・分析
望月 由美子		同センター非常勤研究員	集計・分析
熊谷 良介	リサーチアシスタント		集計・分析・報告書執筆

(3) 調査の対象

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)を対象とした。対象世帯数は、全道(札幌市を除く)のひとり親世帯の12%とした。令和2年国勢調査の世帯総数を基礎とし、市町村ごとのひとり親世帯の12%とした。前回2017年調査の抽出率は10%であるが、後述のように今回は郵送による返送で回収率の低下が見込まれるため、抽出率を高く設定した。

(4) 調査の時期

調査時点 令和4年7月1日

調査期間 令和4年8月1日～8月31日

(5) 調査の方法

各市町村から、児童扶養手当の現況届の提出依頼文書を発出する際に、本調査依頼文書、返信用封筒と調査票を同封して発送した。回答者は調査票に記入後、返信用封筒に入れて、北海道庁担当課あてに郵送で返送することとした。

調査は無記名で実施した。調査依頼文書、調査票表紙に、調査は無記名で実施し、調査票、返信用封筒に記名の必要はないこと、回答内容が児童扶養手当の決定に影響することはないこと、回収や集計・分析は、北海道と北海道大学で行うこと、自由記述欄に個人が特定される可能性のある記述がある際は、匿名化を行ったうえで集計・分析を行うことを明記した。

(6) 調査項目

調査項目は大きく、①家族の状況、②仕事の状況、③家計の状況、④子育ての状況、⑤ひとり親家庭になった前後の状況、⑥社会関係の状況、⑦制度利用の状況、⑧新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に分けられる。本報告書の「Ⅲ 資料編」に調査票を添付している。

(7) 回収率

調査票配布数は4347、回収数は1856で、回収率42.7%である。母子家庭と父子家庭は同一の調査票を用い、母子家庭と父子家庭のどちらに該当するかをたずねる設問への回答によって、母子家庭と父子家庭の区別を行った。この設問が無回答である有効回答は33票であった。

(8) 報告書を読んでいただくにあたって

1) 集計について

「Ⅱ 調査結果」では、表のパーセント表示は回答者数(サンプル数)を母数にして表示している。パーセント表示は原則として横計の構成比率をあらわしている。「複数回答」と表示している表の場合は、その合計は100%を超える。また、単数回答の表についても、少数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

2) 他の調査との比較について

北海道のひとり親家庭を対象とした生活実態調査はこれまで5回行われている。(表I-2)。2012年までの調査は、実施主体が(財)北海道民生委員児童委員連盟であり、北海道大学大学院教育学研究院所属教員を中心とした「北海道子どもの生活環境研究会」が調査票の設計、集計分析、報告書執筆を担当している。2017年から北海道と北海道大学大学院教育学研究院が共同で実施している。

表I-1 北海道のひとり親を対象とした過去の調査

調査年	報告書名
1994年	単親(母子・父子)家庭生活実態調査報告書
2003年	ひとり親家庭(父と子・母と子の家庭)の生活と意識に関する調査報告書
2008年	ひとり親家庭(父と子・母と子の家庭)の生活と意識に関する調査報告書
2012年	ひとり親家庭(父と子・母と子の家庭)の生活と意識に関する調査報告書
2017年	2017年 北海道 ひとり親家庭生活実態調査 報告書

今回と表I-1の各調査には共通する設問があり、一部比較が可能であるが、比較の際には特に以下の2点に留意する必要がある。

①調査対象の違い

「(3)調査の対象」のとおり、今回の調査の対象世帯は児童扶養手当を受給しているひとり親家庭から抽出しており、2017年調査も同様である。一方、2014年までの調査における調査対象世帯は、民生児童委員が担当する地域から抽出しており、児童扶養手当を受給していないひとり親家庭も対象となっている。

②配布・回収方法の違い

「(5)調査の方法」に記載したように、今回の調査は郵送での配布、回収である。1994年の調査では、民生児童委員が各世帯を訪問し、調査票にもとづいて聞き取り、記入を行った。2003年から2014年の調査では、民生児童委員が対象世帯を訪問し、調査票を配布、回収する留め置き方式で実施された。2017年調査は、郵送で調査票を配布、回答者自身が回収用封筒に封入し、各市町村に提出する現況届の提出の際に持参、各市町村で回収し、未開封の封筒を各市町村から北海道に送付した。

Ⅱ 調査結果

1. 家族の状況

(1) 世帯の状況

1) 世帯類型

有効回答である1,856世帯のうち、母子家庭は1,674世帯(90.2%)、父子家庭は149世帯(8.0%)、母子家庭と父子家庭のどちらかであるか判別ができない世帯(以下、判別不可家庭)は33世帯(1.8%)である。

母子家庭、父子家庭、判別不可家庭それぞれを、生計が同一である子どもの祖父母がいるかどうかで分けると表1-1のようになる。

以下、

- 「母子世帯」 = 母と子どものみの世帯
- 「母子+祖父母世帯」 = 子どもの祖母および(または)祖父と生計が同一である母子世帯
- 「母子+その他世帯」 = 祖父母ではない他の同一生計者がいる母子世帯¹
- 「母子+判別不可世帯」 = 母と子ども以外に生計が同一である世帯員がいるか判別ができない世帯

とする。父子家庭、判別不可家庭についても同様である。

表 1-1 世帯類型別有効回答数

母子/父子家庭の別	有効回答数	世帯類型	有効回答数
母子家庭	1674	母子世帯	1441
		母子+祖父母世帯	218
		母子+その他世帯	6
		母子+判別不可	9
父子家庭	149	父子世帯	120
		父子+祖父母世帯	29
		父子+その他世帯	0
判定不可家庭	33	判定不可世帯	22
		判定不可+祖父母世帯	2
		判定不可+判別不可	9

以降は、表1-1に示した世帯類型のうち、「母子世帯」、「母子+祖父母世帯」、「父子世帯」、「父子+祖父母世帯」の4つの世帯類型(計1,808世帯)について、調査結果を示す。

2) 回答者の年齢

回答者の年齢は表1-2のとおりである。母子+祖父母世帯は、他の世帯と比べて20代以下がやや多い分布となっている。父子+祖父母世帯は、父子世帯と比べて40代が7割近くを占める。一方、父子世帯は他の世帯に

¹ 同一生計者として、祖父母とその他の者が両方含まれる母子家庭は、「母子+祖父母世帯」として集計している。父子家庭、判別不可家庭も同様である。

比べて50代以上が多い。なお、20代以下のうち、10代のもので母子世帯に6人、母子+祖父母世帯に3人含まれる。また50代以上のうち、60代が母子世帯に5人、父子世帯に4人含まれる。

表 1-2 回答者の年齢

(単位: %)

	サンプル数 (人)	20代以下	30代	40代	50代以上	無回答
母子世帯	1441	6.6	29.1	50.8	13.1	0.3
母子+祖父母世帯	218	11.9	26.1	47.2	14.7	0.0
父子世帯	120	1.7	26.7	43.3	28.3	0.0
父子+祖父母世帯	29	3.4	17.2	69.0	10.3	0.0

3) 世帯人数

本調査では、「別居であっても生計が同じ家族」を同一世帯の者としている。世帯人数(回答者を含む)は表 1-3 のとおりである。

なお、「生計が同じ」であることの判断は回答者にゆだねているため、他の設問と整合しない回答が含まれている可能性がある。²

表 1-3 世帯人数

(単位: %)

	サンプル数 (人)	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均 (人)
母子世帯	1441	45.6	38.0	12.4	3.4	0.6	2.7
母子+祖父母世帯	218	4.6	32.6	38.1	24.8	0.0	3.9
父子世帯	120	40.8	35.8	19.2	3.3	0.8	2.9
父子+祖父母世帯	29	0.0	10.3	51.7	37.9	0.0	4.5

² 家計をどの範囲、程度で共通にするかが世帯によってさまざまであるように、「生計が同じ」であるとする判断基準も回答者によって異なると考えられる。また、設問ごとに「生計が同じ」であることと「同居しているかどうか」の比重の置き方や理解がゆれる場合もある。整合性がとれていないように見える回答について、本報告書では修正等を加えずに掲載している。

4) 子どもの人数

子どもの人数は表 1-4 のとおりである。これは、下宿等により別居している子どもを含む人数である。いずれの世帯類型においても、子どもが 1 人である世帯がもっとも多い。子どもの人数が 4 人以上のうち、子どもが 5 人の世帯が母子世帯に 5 世帯、父子世帯に 2 世帯含まれる。

また、回答者と同居している子どもの人数は表 1-5 のとおりである。

表 1-4 子どもの人数（別居の子どもを含む）

(単位:%)

	サンプル数 (人)	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均 (人)	最大値 (人)
母子世帯	1441	46.1	38.3	11.9	3.0	0.7	1.7	5
母子+祖父母世帯	218	65.6	28.9	4.1	0.0	1.4	1.4	3
父子世帯	120	41.7	32.5	21.7	3.3	0.8	1.9	5
父子+祖父母世帯	29	58.6	34.5	3.4	0.0	3.4	1.4	3

表 1-5 同居している子どもの人数

(単位:%)

	サンプル数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均 (人)
母子世帯	1441	1.0	52.4	33.9	10.1	1.9	0.7	1.6
母子+祖父母世帯	218	1.4	69.3	24.8	3.2	0.0	1.4	1.3
父子世帯	120	1.7	47.5	31.7	15.8	2.5	0.8	1.7
父子+祖父母世帯	29	0.0	58.6	34.5	3.4	0.0	3.4	1.4

5) 子どもの学校段階

子どもの学校段階(保育所等に通っている子ども、就労している子ども、また別居の子どもを含む)を表 1-6-1 で確認する。全体として小学校に通う子どもがいる世帯が多く、次いで高校、中学校に通う子どもがいる世帯が多い。短大・専門学校・大学・大学院に通う子どもがいる世帯を見ると、母子世帯、母子+祖父母世帯、父子世帯の順で多くなっている。一方働いている子どもがいる世帯を見ると、父子世帯、父子世帯+祖父母世帯、母子世帯の順で多くなっている。また、就学前の子どもがいる世帯は、父子世帯よりも母子世帯、父子+祖父母世帯よりも母子+祖父母世帯で多く、母子世帯よりも母子+祖父母世帯で多くなっている。

また、就学前の子どもについて、保育所に通っている子どもがいる世帯は母子世帯、母子+祖父母世帯に多く、父子世帯については保育所、幼稚園、認定こども園で似たような数となっている。

表 1-6-1 学校等段階別の子ども的人数

(単位:%)

		サンプル数 (人)	0人	1人	2人	3人以上	無回答			サンプル数 (人)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
	母子+祖父母世帯	218	77.1	19.3	1.8	0.5	1.4		母子+祖父母世帯	218	98.6	0.0	0.0	0.0	1.4
	父子世帯	120	88.3	9.2	1.7	0.0	0.8		父子世帯	120	98.3	0.8	0.0	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	89.7	3.4	3.4	0.0	3.4		父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	0.0	0.0	3.4
小学校	母子世帯	1441	57.7	32.8	8.1	0.7	0.7	短大・専門学校・ 大学・大学院	母子世帯	1441	88.0	9.4	0.5	0.0	2.1
	母子+祖父母世帯	218	66.5	27.5	4.1	0.5	1.4		母子+祖父母世帯	218	87.6	8.3	0.0	0.0	4.1
	父子世帯	120	60.8	21.7	16.7	0.0	0.8		父子世帯	120	92.5	5.0	0.0	0.0	2.5
	父子+祖父母世帯	29	48.3	41.4	6.9	0.0	3.4		父子+祖父母世帯	29	86.2	3.4	0.0	0.0	10.3
中学校	母子世帯	1441	68.3	28.6	2.4	0.0	0.7	働いている	母子世帯	1441	92.6	5.7	0.8	0.1	0.7
	母子+祖父母世帯	218	71.1	26.1	1.4	0.0	1.4		母子+祖父母世帯	218	96.3	2.3	0.0	0.0	1.4
	父子世帯	120	60.8	33.3	5.0	0.0	0.8		父子世帯	120	88.3	8.3	2.5	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	69.0	24.1	3.4	0.0	3.4		父子+祖父母世帯	29	89.7	6.9	0.0	0.0	3.4
高校	母子世帯	1441	62.4	33.7	3.1	0.1	0.7	その他	母子世帯	1441	94.8	4.1	0.3	0.1	0.7
	母子+祖父母世帯	218	68.8	28.0	1.8	0.0	1.4		母子+祖父母世帯	218	95.9	2.3	0.5	0.0	1.4
	父子世帯	120	53.3	40.8	5.0	0.0	0.8		父子世帯	120	94.2	4.2	0.8	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	65.5	31.0	0.0	0.0	3.4		父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	0.0	0.0	3.4

注: 上記表の【就学前】は、保育所、幼稚園、認定こども園に通っている子どもと、年齢の回答が6歳以下で「どこにも通っていない」「その他」、学校段階無回答の世帯を含む。年齢の回答が7歳以上で「どこにも通っていない」、「その他」、学校段階無回答および年齢と学校段階いずれも無回答(続き柄のみ回答)については、上記表【その他】として集計している。子どもの学校段階区分については本報告書「Ⅲ 資料」掲載の調査票を参照。

表 1-6-2 就学前の子ども的人数の内訳

(単位:%)

		サンプル数 (人)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
	母子+祖父母世帯	218	87.6	10.6	0.5	0.0	1.4
	父子世帯	120	95.0	4.2	0.0	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	0.0	0.0	3.4
幼稚園	母子世帯	1441	96.9	1.8	0.6	0.0	0.7
	母子+祖父母世帯	218	96.8	1.4	0.5	0.0	1.4
	父子世帯	120	95.8	2.5	0.8	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	93.1	3.4	0.0	0.0	3.4
認定こども園	母子世帯	1441	95.2	3.7	0.3	0.0	0.7
	母子+祖父母世帯	218	95.0	3.2	0.5	0.0	1.4
	父子世帯	120	95.0	4.2	0.0	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	0.0	0.0	3.4
どこにも通っていない	母子世帯	1441	97.6	1.5	0.2	0.0	0.7
	母子+祖父母世帯	218	93.1	5.0	0.0	0.5	1.4
	父子世帯	120	99.2	0.0	0.0	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	93.1	0.0	3.4	0.0	3.4
その他	母子世帯	1441	99.2	0.1	0.0	0.0	0.7
	母子+祖父母世帯	218	98.6	0.0	0.0	0.0	1.4
	父子世帯	120	99.2	0.0	0.0	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	0.0	0.0	3.4

(2)健康状態

1)回答者の健康状態

表 1-7 は、回答者の現在の健康状態を示している。「健康である」は母子世帯において6割を下回っている。「通院していないが体調が悪い」は若干母子世帯で多いが、「通院している」をみるとその差は広がり、母子世帯、母子+祖父母世帯で3割を超えている。

表 1-8 は、過去1か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった(仕事や学校を休んだ、家事ができなかったなど)日の有無と、「ある」場合のその日数を示している。母子世帯、母子+祖父母世帯では4分の1以上が「ある」としている。床についたり、普段の活動ができなかった日数が 10 日以上あるというものが、母子世帯においては全体の 1 割近くとなっている。

表 1-9 は、過去 1 か月の心の状態を点数階級別に示している³。令和元年国民生活基礎調査における、性別、年齢階級別の得点分布(参考表1)と比べて、本調査では、いずれの世帯類型においても得点が高い傾向にある。

表 1-7 回答者の健康状況

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	健康である	通院している	入院中である	が通院していないが体調が悪い	る障(難病をのぞく)がいて認定を受けている	て指定難病の認定を受けている	その他	無回答
母子世帯	1441	56.9	33.2	0.2	8.2	2.2	1.5	2.9	0.1
母子+祖父母世帯	218	59.6	33.0	0.0	9.6	1.4	0.0	0.9	0.0
父子世帯	120	77.5	14.2	0.0	7.5	0.8	0.0	3.3	0.0
父子+祖父母世帯	29	75.9	13.8	0.0	6.9	0.0	3.4	0.0	0.0

³ 心理的ストレス得点(K6)という尺度を用いている。この尺度は、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。6つの質問について、5段階(0~4点)で点数化する。合計得点が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとして示されている。(令和元年国民生活基礎調査「用語の説明」より)。なお、「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動(健康日本21(第二次))において、「気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている(20歳以上でK6合計得点10点以上)」の割合の目標値(令和4年までに9.4%)が示されている。

表 1-8 過去 1 か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった日の有無と日数

(単位:%)

	サンプル数 (人)	過去1ヶ月の間に、健康上の問題で床についたり、ふだんの活動ができなかった日の有無									
		無回答		ない		「ある」場合の合計日数					平均 (日)
				1 ~ 2 日	3 ~ 4 日	5 ~ 9 日	10 ~ 14 日	15 日 以上	無 回 答		
母子世帯	1441	0.7	71.1	8.5	5.9	4.6	5.3	3.5	0.3	7.1	
母子+祖父母世帯	218	0.9	73.9	10.1	6.4	2.8	4.1	1.8	0.0	5.8	
父子世帯	120	1.7	86.7	3.3	1.7	1.7	3.3	1.7	0.0	8.9	
父子+祖父母世帯	29	0.0	82.8	10.3	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	8.0	

注:「平均(日)」は「ある」と回答したものの中での平均である。

表 1-9 過去 1 か月の心の状態 (点数階級)

(単位:%)

	サンプル数 (人)	0 ~ 4 点	5 ~ 9 点	10 ~ 14 点	15 点 以上	無 回 答	平均 (点)
母子世帯	1441	43.2	24.8	16.8	12.3	2.8	6.8
母子+祖父母世帯	218	49.1	22.9	17.0	8.7	2.3	5.9
父子世帯	120	51.7	27.5	11.7	6.7	2.5	5.3
父子+祖父母世帯	29	69.0	17.2	3.4	10.3	0.0	4.0

参考表 1 性・年齢階級別にみた 12 歳以上の者の心の状態（点数階級）

(単位: %)

	0～4点	5～9点	10～14点	15点以上	不詳
女	65.8	18.7	7.7	2.8	5.0
12～19歳	72.8	13.5	5.8	2.3	5.6
20～29	63.2	19.3	10.5	4.9	2.0
30～39	63.5	20.3	10.0	4.2	2.0
40～49	64.3	20.7	9.2	3.7	2.2
50～59	64.5	21.9	8.3	2.8	2.5
60～69	71.1	17.4	5.7	1.5	4.3
男	71.0	15.9	6.4	2.2	4.6
12～19歳	77.1	11.2	4.8	1.3	5.6
20～29	67.6	16.6	9.5	3.9	2.4
30～39	66.8	18.0	9.0	3.7	2.5
40～49	69.0	17.6	7.8	2.8	2.8
50～59	70.3	17.6	6.9	2.2	3.0
60～69	76.0	15.1	4.1	1.1	3.6

出所: 令和元年国民生活基礎調査

注: 入院者は含まない。

2) 子どもの健康・発達の状況

現在の子どもの健康・発達の状況は表 1-10 のとおりである。「みんな健康である」は、母子世帯が 7 割に満たず、他の世帯類型では 7 割強となっている。「通院している病気がある子がいる」世帯は、父子世帯を除き 1 割を超えている。ただし、父子世帯において「発達に遅れのある子がいる」世帯は 1 割を超えている。

表 1-10 子どもの健康状況

(複数回答, 単位: %)

	サンプル数 (人)	みんな健康である	通院している病気がある	入院している子がいる	通院していないが体調悪	(障がいがある子がいる)	指定難病の認定を受けている	発達に遅れのある子がいる	その他	無回答
母子世帯	1441	68.3	15.2	0.2	2.4	8.1	1.5	9.6	3.5	0.2
母子+祖父母世帯	218	72.0	12.4	0.5	1.8	5.5	1.4	7.8	5.0	0.0
父子世帯	120	77.5	5.0	0.0	2.5	5.8	1.7	12.5	0.8	0.0
父子+祖父母世帯	29	79.3	10.3	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0

3) 他の家族の健康状況

回答者および子ども以外の、生計が同じ家族の健康状況については表 1-11 の通りである。母子+祖父母世帯と父子+祖父母世帯では、「通院している病気がある家族がいる」世帯が多く、また「介護の必要な家族がいる世帯」も 1 割ほどとなっている。

表 1-11 他の家族の健康状況

(複数回答単位:%)

	サンプル数(人)	他の家族はいない	みんな健康である	通院している病気がある家族がいる	入院している家族がいる	悪い家族がいないが体調が悪い	障がい認定を受けている(難病除く)	指定難病の認定を受けている家族がいる	介護の必要な家族がいる	その他	無回答
母子世帯	1441	71.0	16.7	5.1	0.3	0.4	1.7	0.6	0.5	0.5	4.8
母子+祖父母世帯	218	2.8	32.1	56.0	1.4	3.2	4.1	2.3	8.7	0.9	1.4
父子世帯	120	65.8	25.8	2.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	5.0
父子+祖父母世帯	29	3.4	34.5	48.3	3.4	3.4	6.9	0.0	10.3	0.0	0.0

4) 過去 1 年間の病院や歯医者を受診について

「過去 1 年間に、お子さんを病院や歯医者で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことはありますか」についての回答は表 1-12-1 のとおりである。生計が同じ祖父母がいる世帯よりも、単独の母子世帯、父子世帯のほうが「あった」の回答割合が高い。表 1-12-2 は、受診させなかったことが「あった」場合の理由を示している。全体として多いのは、「仕事で連れていく時間がなかった」である。ついで、「様子をみていたら受診せずに回復したため」、「子どもが嫌がった」、「子どもが忙しかった」、「お金がなかった」が多くなっている。また、母子+祖父母世帯で「自分の健康状態が悪く連れていけなかった」が特に多くなっている。

同様の質問を回答者本人についても行ったものが表 1-13-1、表 1-13-2 である。子どもの場合よりも「あった」が多く、特に母子世帯では半数に近い。仕事による時間のなさが理由として多いのは子どもの場合と同様である。次いで「お金がなかった」が世帯に関わらず 4 割程となっており、特に母子世帯、母子+祖父母世帯で、子どもの場合と比べて多くなっている。

表 1-12-1 過去 1 年間に子どもを病院や歯医者に受診させた方がいいと思ったが、実際にはさせなかったことはあるか

(単位:%)

	サンプル数 (人)	あった	なかった	%
母子世帯	1441	24.4	75.6	0.0
母子+祖父母世帯	218	16.5	83.5	0.0
父子世帯	120	20.8	79.2	0.0
父子+祖父母世帯	29	17.2	82.8	0.0

表 1-12-2 受診させなかった理由 (子ども)

(複数回答,単位:%)

	サンプル数 (人)	様子を回復したいため	子どもが嫌がった	子どもが忙しかった	自分の健康状態が悪く連れて行けなかった	仕事で連れて行く時間がなかった	他の子どもの世話で連れて行く時間がなかった	病院が遠いため	お金がなかった	保険証がなかった	その他	無回答
母子世帯	352	25.6	16.8	20.5	6.8	59.1	2.0	8.2	18.8	2.3	7.1	1.1
母子+祖父母世帯	36	22.2	25.0	22.2	13.9	55.6	0.0	5.6	25.0	0.0	2.8	2.8
父子世帯	25	32.0	20.0	20.0	0.0	64.0	0.0	4.0	40.0	0.0	4.0	0.0
父子+祖父母世帯	5	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0

注:表1-12-1で「あった」場合のみ回答。

表 1-13-1 過去 1 年間に、病院や歯医者に行きたいのに行けなかったことはあるか

(単位:%)

	サンプル数 (人)	あった	なかった	無回答
母子世帯	1441	46.6	53.1	0.3
母子+祖父母世帯	218	38.1	61.9	0.0
父子世帯	120	39.2	60.8	0.0
父子+祖父母世帯	29	27.6	69.0	3.4

表 1-13-2 受診しなかった理由(回答者本人)

(複数回答,単位:%)

	サンプル数 (人)	仕事で時間が なかった	子どもの世話で 時間がな	病院が遠いため	お金がなかった	保険証がなかった	その他	無回答
母子世帯	671	68.0	26.7	7.6	40.4	1.5	9.2	0.0
母子+祖父母世帯	83	68.7	26.5	6.0	41.0	0.0	7.2	0.0
父子世帯	47	83.0	27.7	2.1	40.4	0.0	4.3	0.0
父子+祖父母世帯	8	62.5	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0

注:表1-13-1で「あった」場合のみ回答。

(3)住まいの状況

1)住宅の種類

現在の住宅(表 1-14)について、母子世帯と父子世帯は賃貸住宅(民間、公営)が多いが、公営住宅よりも民間住宅に住む世帯の方が多い。公営住宅に住む世帯の割合をみると、父子世帯よりも母子世帯、父子+祖父母世帯よりも母子+祖父母世帯で多くなっている。父子世帯、父子+祖父母世帯ではおよそ3分の1が持家である。生計が同一の祖父母がいる世帯では、「両親などの家に同居」が多いものの、母子+祖父母世帯で6割、父子+祖父母世帯で5割弱である。

表 1-14 住宅の種類

(単位：%)

	サンプル数(人)	民間賃貸住宅(借家、アパート、マンション)	公営住宅(道・市・町村)	両親などの家に同居	持家(一戸建て、分譲マンションなど)	その他	無回答
母子世帯	1441	38.7	32.9	10.1	14.9	2.9	0.5
母子+祖父母世帯	218	14.7	9.2	63.8	11.0	0.5	0.9
父子世帯	120	33.3	17.5	8.3	37.5	2.5	0.8
父子+祖父母世帯	29	17.2	0.0	48.3	31.0	0.0	3.4

2) 自家用車の保有

いずれの世帯類型においても、通勤や買い物、子どもの送迎等に使える自家用車を保有している世帯が多い(表 1-15)。自家用車を保有していない世帯は、母子世帯、母子+祖父母世帯で多く、1割程となっている。

表 1-15 自家用車の保有

(単位：%)

	サンプル数(人)	ある	ない	無回答
母子世帯	1441	87.2	12.0	0.8
母子+祖父母世帯	218	88.1	10.1	1.8
父子世帯	120	95.8	3.3	0.8
父子+祖父母世帯	29	96.6	0.0	3.4

2. 仕事について

(1) 就業状況

回答者の多くは現在働いている。父子世帯と父子+祖父母世帯は、母子世帯と母子+祖父母世帯よりも働いている世帯の割合がさらに高い。

表 2-1 現在、働いているか

(単位: %)

	サンプル数 (人)	働いている	働いていない	無回答
母子世帯	1441	89.2	10.7	0.1
母子+祖父母世帯	218	87.6	12.4	0.0
父子世帯	120	95.0	5.0	0.0
父子+祖父母世帯	29	93.1	3.4	3.4

(2) 働いている場合

先に示した表 2-1 で、現在「働いている」世帯(母子世帯 1,286 世帯、母子+祖父母世帯 191 世帯、父子世帯 114 世帯、父子+祖父母世帯 27 世帯)について、以下、確認する。

1) 雇用形態

雇用形態について(表 2-2)、母子世帯と父子世帯、父子+祖父母世帯では「正規の職員・従業員」が最も多いが、父子世帯、父子+祖父母世帯が6割から7割であるのに対して、母子世帯は4割強と半数に満たない。母子世帯は「臨時(季節雇用を含む)・パートタイマー」も多く、母子+祖父母世帯とともに4割程となっている。「派遣社員・契約社員・嘱託」を含めると、それぞれ5割程となる。

表 2-2 雇用形態

(単位: %)

	サンプル数 (人)	正規の職員・従業員	臨時(季節雇用を含む)・パートタイマー	嘱託	派遣社員・契約社員	自営・内職・家族従事者	その他	無回答
母子世帯	1286	43.5	36.9	12.8	4.7	1.7	0.5	
母子+祖父母世帯	191	35.1	43.5	17.8	3.1	0.5	0.0	
父子世帯	114	78.1	7.0	5.3	8.8	0.9	0.0	
父子+祖父母世帯	27	63.0	3.7	7.4	25.9	0.0	0.0	

2) 仕事の種類

仕事の種類は表 2-3 のとおりである。多い順にあげると、母子世帯と母子+祖父母世帯では、「専門的・技術的職業」、「事務」であり、父子世帯と父子+祖父母世帯では、「製造・建設業」、「運輸・通信」である。

表 2-3 仕事の種類

(単位:%)

	サンプル数(人)	専門的・技術的職業	事務	生活衛生サービス従事者	飲食サービス従事者	店員	営業・セールス	製造・建設業	運輸・通信	農・林・水産業	管理的職業	その他	無回答
母子世帯	1286	28.5	26.5	4.4	5.8	7.3	5.2	4.0	2.8	2.2	0.8	11.1	1.5
母子+祖父母世帯	191	28.8	24.6	1.6	7.3	13.6	4.7	2.1	2.1	2.6	1.6	9.4	1.6
父子世帯	114	14.9	4.4	1.8	4.4	2.6	5.3	30.7	21.1	5.3	3.5	5.3	0.9
父子+祖父母世帯	27	18.5	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7	25.9	14.8	3.7	0.0	22.2	3.7

注:2つ以上の仕事をしている場合は、主となる勤め先についての回答

3) 仕事を見つけた方法

現在の仕事を見つけた方法としては、「知人の紹介」、「ハローワーク」が多い(表 2-4)。

表 2-4 現在の仕事を見つけた方法

(単位:%)

	サンプル数(人)	ハローワーク	新聞広告	アルバイト情報誌など	友人・知人の紹介	親・親戚の紹介	学校の紹介	家業を継いだ	援母センター等 家庭等の就業 紹介・自立支	その他	無回答
母子世帯	1286	26.4	5.4	12.1	30.0	5.9	2.6	1.6	0.8	14.1	1.2
母子+祖父母世帯	191	30.4	4.7	9.9	23.6	4.7	3.1	2.1	1.6	18.8	1.0
父子世帯	114	23.7	4.4	9.6	27.2	10.5	7.0	6.1	0.9	10.5	0.0
父子+祖父母世帯	27	18.5	0.0	3.7	55.6	3.7	0.0	7.4	0.0	7.4	3.7

4) 仕事についての悩みや不安

表 2-5 は、現在の仕事についての悩みや不安を示している。最も多いのは「収入が少ない」となっている。他に、「休みが取りにくい」「先の見通しがもちにくい」「職場の人間関係」「帰りが遅い」「仕事の内容」が挙げられる。父子世帯では「朝が早い」「帰りが遅い」「勤務時間が長い」「残業が多い」「昇給・昇進が遅い」が目立つ。一方

で、母子世帯と母子+祖父母世帯では、「雇用や身分が不安定」が父子世帯、父子+祖父母世帯よりも割合が高くなっている。

時間に関連する「朝が早い」「帰りが遅い」「通勤時間が長い」「勤務時間が長い」「夜勤や交替勤務がある」「残業が多い」「休みが取りにくい」の中から1つ以上選択しているものは、母子世帯と母子+祖父母世帯では4割程であるが、父子世帯では5割を上回る。同様に、仕事の安定性に関連する「雇用や身分が不安定」「雇用期間が限られている」「先の見通しがもちにくい」から1つ以上選択しているものは、世帯全体で3割程となっている。

表 2-5 現在の仕事についての悩みや不安

		(複数回答, 単位: %)																			
	サンプル数 (人)	朝が早い	帰りが遅い	通勤時間が長い	勤務時間が長い	夜勤や交替勤務がある	残業が多い	休みが取りにくい	収入が少ない	資格をいかせない	雇用や身分が不安定	雇用期間が限られている	昇給・昇進が遅い	先の見通しがもちにくい	ノルマが厳しい	仕事の内容	職場の人間関係	パワハラやセクハラ	その他	とくに悩みや不安はない	無回答
母子世帯	1286	8.4	12.3	5.2	7.9	4.1	7.4	17.4	46.2	2.8	11.5	4.7	12.1	20.4	3.4	15.2	20.2	6.4	7.2	17.6	1.2
母子+祖父母世帯	191	6.3	10.5	6.8	8.4	6.3	7.3	20.4	46.6	2.1	14.1	5.8	8.4	23.6	1.6	11.5	19.4	7.9	4.7	18.3	0.5
父子世帯	114	21.9	17.5	3.5	16.7	7.0	16.7	28.9	41.2	2.6	6.1	3.5	17.5	19.3	3.5	15.8	20.2	7.9	6.1	16.7	0.9
父子+祖父母世帯	27	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	7.4	11.1	33.3	0.0	7.4	0.0	22.2	33.3	7.4	7.4	7.4	3.7	0.0	33.3	7.4

再掲表 2-5 種類別にみた仕事についての悩みや不安

(単位: %)				
	サンプル数 (人)	収入について	時間について	安定性について
母子世帯	1286	46.2	36.6	27.8
母子+祖父母世帯	191	46.6	39.3	29.8
父子世帯	114	41.2	50.9	26.3
父子+祖父母世帯	27	33.3	22.2	33.3

注:【時間について】は、表2-5の「朝が早い」「帰りが遅い」「通勤時間が長い」「勤務時間が長い」「夜勤や交替勤務がある」「残業が多い」「休みが取りにくい」の7項目のうち1つ以上選択している割合。【安定性について】は、「雇用や身分が不安定」「雇用期間が限られている」「先の見通しがもちにくい」の3項目のうち1つ以上選択している割合。【収入について】は、「収入が少ない」を選択している割合。

5) 仕事の継続に関する希望

現在の仕事についての継続希望(表 2-6)としては、「いまの仕事を続けたい」が最も多く、半数を上回り、父子世帯では7割となっている。ついで、「勤め先をかえたい」が多くなっている。

表 2-6 今後も現在の仕事を続けるつもりか

(単位: %)

	サンプル数(人)	つづけた仕事をつ	仕事をかえた内容や部署	勤め先をかえた	正規職員の仕事にかえた	パートの仕事にかえた	仕事をやめたい	その他	無回答
母子世帯	1286	53.5	3.7	17.0	10.2	1.1	3.3	8.7	2.6
母子+祖父母世帯	191	61.8	3.7	14.7	9.4	0.0	1.6	7.3	1.6
父子世帯	114	70.2	2.6	17.5	0.9	0.0	6.1	1.8	0.9
父子+祖父母世帯	27	55.6	3.7	11.1	3.7	0.0	7.4	14.8	3.7

6) 副業について

副業については、していない世帯が多数であるが、母子世帯と父子+祖父母世帯で副業をしている世帯が1割を上回っている(表 2-7)。

表 2-7 別の仕事(副業)をしているか

(単位: %)

	サンプル数(人)	別の仕事はしていない	別の仕事もしている	無回答
母子世帯	1286	88.1	11.6	0.3
母子+祖父母世帯	191	93.2	5.8	1.0
父子世帯	114	93.9	6.1	0.0
父子+祖父母世帯	27	85.2	14.8	0.0

(3) 働いていない理由

先に示した表 2-1 で「働いていない世帯」(母子世帯 154 世帯、母子+祖父母世帯 27 世帯、父子世帯 6 世帯、父子+祖父母世帯 1 世帯)について、以下で確認する。

1) 現在仕事についていない理由

仕事についていない理由として多いのは、「自分の心身の健康上の理由」、「仕事が見つからない」「子育てのため」となっている(表 2-8)。

表 2-8 働いていない理由（複数回答）

(単位:%)

	サンプル数(人)	子育てのため	保育園がみつからない	保育上の理由	自分の心身の健康	介護や病人の世話	親や病入の世話	ない仕事が見つからない	働かなくても生活できる	学校に通っていない・職業訓練中	その他	無回答
母子世帯	154	24.0	2.6	53.9	10.4	35.1	2.6	3.9	15.6	0.6		
母子+祖父母世帯	27	33.3	3.7	40.7	14.8	18.5	7.4	11.1	7.4	0.0		
父子世帯	6	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0		
父子+祖父母世帯	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

2) 就業に関する見通しと希望

今後の就業については、「いま、仕事をさがしている」が多い(表 2-9-1)。次いで「そのうち仕事につきたい」、「いまのところわからない」が 2 割前後となっている。

今後の就業希望(表 2-9-1)において、「いま、仕事をさがしている」、「いま、仕事につくための技能・資格などを訓練中」、「そのうち仕事につきたい」と回答したものについて、どのような仕事に就きたいのかの希望(表 2-9-2)をみると、母子世帯では、「パートとして働きたい」、「正社員・正職員として働きたい」の順となっている。サンプル数は少ないが母子+祖父母世帯と父子世帯では、「正社員・正職員として働きたい」が多くなっている。

表 2-9-1 今後、仕事に就きたいと思うか

(単位:%)

	サンプル数(人)	いま、仕事をさがしている	いま、仕事につくための技能・資格などを訓練中	そのうち仕事につきたい	できれば仕事をしたい	仕事につくつもりはない	いまのところわからない	その他	無回答
母子世帯	154	34.4	6.5	27.9	3.2	0.0	17.5	7.1	3.2
母子+祖父母世帯	27	44.4	7.4	18.5	3.7	0.0	25.9	0.0	0.0
父子世帯	6	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
父子+祖父母世帯	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

表 2-9-2 どのような仕事に就きたいか

(単位:%)

	サンプル数(人)	自分で商売や事業をした	家族などの商売や事業を手伝いたい	正社員・正職員として働きたい	パートとして働きたい	家庭内で内職をしたい	その他	無回答
母子世帯	106	8.5	0.9	28.3	43.4	6.6	3.8	8.5
母子+祖父母世帯	19	0.0	0.0	47.4	47.4	0.0	5.3	0.0
父子世帯	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
父子+祖父母世帯	0	—	—	—	—	—	—	—

注:表2-9-1で「仕事を探している」、「技能・資格の取得中」、「そのうち仕事につきたい」の場合のみ回答。

(4)最終学歴、就業歴、資格

1)最終学歴

回答者の最終学歴(表 2-10)は、半数以上が「高校卒業」である。また高校卒業以降の学歴となっているのは、母子世帯、母子+祖父母世帯でおよそ3分の1、父子世帯と父子+祖父母世帯でおよそ4分の1であり、「短大・専門学校」が中心となっている。「中学卒業」と「高校中退」を合わせると1割を超えている。

表 2-10 回答者の最終学歴

(単位:%)

	サンプル数(人)	中学卒業	高校中退	高校卒業	高専・専門学校卒業	短大・専門学校卒業	大学卒業以上	その他	無回答
母子世帯	1441	4.9	7.6	51.9	3.1	23.9	5.3	1.0	2.4
母子+祖父母世帯	218	3.7	7.3	52.3	2.3	26.6	5.5	1.4	0.9
父子世帯	120	9.2	6.7	56.7	0.8	17.5	7.5	0.0	1.7
父子+祖父母世帯	29	3.4	6.9	62.1	3.4	13.8	6.9	0.0	3.4

2)これまでの就業経験

これまでの就業経験(表 2-11-1)について、学校卒業後はほとんどの人が仕事に就いている。子どもの誕生後を見ると、男性(父子世帯、父子+祖父母世帯)はほとんどが仕事に就いており、女性(母子世帯、母子+祖父母世帯)は6~7割が仕事に就いている。

ひとり親家庭になった後の就業経験(表 2-11-2)については、父子世帯、父子+祖父母世帯では「引き続き同じ仕事をした」が半数以上、「新たにみつけた・転職した」が3割程となっている。母子世帯、母子+祖父母世帯では「新たにみつけた・転職した」が半数を超え、「引き続き同じ仕事をした」が3割程となっている。また母子+祖父母世帯の1割程は「仕事をしていない」となっている。

表 2-11-1 各時期に仕事をしてきたか

(単位：%)

		サンプル数(人)	した	しなかった	その他	無回答
学校卒業後	母子世帯	1441	96.5	2.1	0.1	1.3
	母子+祖父母世帯	218	95.4	3.2	0.9	0.5
	父子世帯	120	95.8	1.7	0.8	1.7
	父子+祖父母世帯	29	93.1	3.4	0.0	3.4
子どもの誕生後	母子世帯	1441	69.5	27.3	1.9	1.2
	母子+祖父母世帯	218	59.2	37.6	2.8	0.5
	父子世帯	120	97.5	1.7	0.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	93.1	3.4	0.0	3.4

表 2-11-2 ひとり親家庭となった後に仕事をどうしたか

(単位：%)

	サンプル数(人)	引き続き同じ仕事をした	職場内で部署や仕事内容を変えた	新しい仕事について・転職	後、今は仕事をしていない	仕事をしていない	その他	無回答
母子世帯	1441	34.6	2.2	50.9	1.5	5.1	3.4	2.2
母子+祖父母世帯	218	26.6	0.9	55.0	0.5	13.3	3.7	0.0
父子世帯	120	64.2	4.2	29.2	0.0	0.8	0.8	0.8
父子+祖父母世帯	29	51.7	0.0	34.5	0.0	3.4	3.4	6.9

3)資格

「自動車運転免許」は多くの方が所持している(表 2-12)。その他では、「簿記・速記」、「パソコン・情報処理」の資格を有している人が比較的多くなっている。また父子世帯、父子+祖父母世帯では、「大型特殊などの運転免許」を有している人が多くなっている。また母子世帯、母子+祖父母世帯と比べて、父子世帯、父子+祖父母世帯では選択肢となっている資格を取得している種類が少ない。

習得を希望する資格をみると、父子世帯において「大型特殊などの運転免許」が1割ほどとなっている。母子世帯、母子+祖父母世帯では、「医療事務」、「パソコン・情報処理」、「語学」が1割程と全体の中で比較的高い割合となっている。一方で全体的に習得を希望しないと回答している割合が高い。

表 2-12 資格・免許・技能

(単位：%)

		サン プル 数 (人)	現 在 持 っ て い る	習 得 中	習 得 希 望	習 得 希 望 な し	無 回 答			サン プル 数 (人)	現 在 持 っ て い る	習 得 中	習 得 希 望	習 得 希 望 な し	無 回 答
看護師	母子世帯	1441	3.1	0.3	4.3	44.5	47.8	測量士・ボイ ラー技士	母子世帯	1441	0.0	0.0	1.7	47.6	50.7
	母子+祖父母世帯	218	3.2	0.0	5.0	45.9	45.9		母子+祖父母世帯	218	0.0	0.5	0.9	50.5	48.2
	父子世帯	120	0.0	0.0	0.8	47.5	51.7		父子世帯	120	0.8	0.0	9.2	40.0	50.0
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	3.4	0.0	0.0	20.7	75.9
准看護師	母子世帯	1441	2.5	0.1	3.3	45.5	48.6	理容師・美容 師	母子世帯	1441	2.8	0.1	2.5	46.1	48.5
	母子+祖父母世帯	218	4.6	0.0	2.3	47.2	45.9		母子+祖父母世帯	218	1.4	0.0	2.3	48.6	47.7
	父子世帯	120	0.0	0.0	0.8	47.5	51.7		父子世帯	120	1.7	0.0	0.0	48.3	50.0
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9
保健師	母子世帯	1441	0.3	0.0	2.1	47.3	50.2	はり師・きゅ う師	母子世帯	1441	0.0	0.0	2.6	47.0	50.5
	母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	2.8	49.1	48.2		母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	1.8	49.5	48.6
	父子世帯	120	0.0	0.0	0.0	48.3	51.7		父子世帯	120	0.0	0.0	2.5	45.8	51.7
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9
助産師	母子世帯	1441	0.2	0.0	1.9	47.5	50.3	調理師	母子世帯	1441	3.4	0.0	6.2	42.1	48.4
	母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	1.8	50.0	48.2		母子+祖父母世帯	218	4.6	0.0	5.0	45.4	45.0
	父子世帯	120	0.0	0.0	0.0	48.3	51.7		父子世帯	120	3.3	0.0	4.2	41.7	50.8
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	10.3	0.0	0.0	20.7	69.0
理学療法士	母子世帯	1441	0.1	0.0	2.2	47.2	50.5	自動車運転免 許	母子世帯	1441	59.5	0.3	1.1	10.8	28.2
	母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	3.2	48.2	48.6		母子+祖父母世帯	218	59.2	0.9	2.8	11.9	25.2
	父子世帯	120	0.0	0.0	2.5	45.8	51.7		父子世帯	120	85.8	0.0	3.3	2.5	8.3
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	75.9	3.4	0.0	3.4	17.2
作業療法士	母子世帯	1441	0.0	0.0	2.2	47.0	50.8	大型特殊など の運転免許	母子世帯	1441	2.4	0.0	6.0	42.0	49.5
	母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	3.2	48.2	48.6		母子+祖父母世帯	218	3.7	0.0	4.1	44.5	47.7
	父子世帯	120	0.0	0.0	2.5	45.8	51.7		父子世帯	120	35.0	0.0	10.8	20.8	33.3
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	31.0	0.0	3.4	13.8	51.7
介護福祉士	母子世帯	1441	8.5	0.4	5.1	40.8	45.2	医療事務	母子世帯	1441	7.1	0.0	10.5	34.5	47.9
	母子+祖父母世帯	218	7.8	0.0	6.0	44.0	42.2		母子+祖父母世帯	218	8.7	0.0	11.5	35.3	44.5
	父子世帯	120	1.7	0.8	1.7	46.7	49.2		父子世帯	120	0.8	0.0	1.7	45.0	52.5
	父子+祖父母世帯	29	6.9	0.0	0.0	24.1	69.0		父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9
介護職員初任 者研修	母子世帯	1441	9.6	0.3	3.4	41.0	45.7	パソコン・情 報処理	母子世帯	1441	19.7	0.3	14.4	24.8	40.9
	母子+祖父母世帯	218	10.6	0.9	2.3	42.7	43.6		母子+祖父母世帯	218	15.1	0.0	15.1	28.0	41.7
	父子世帯	120	3.3	0.0	1.7	45.8	49.2		父子世帯	120	12.5	0.0	8.3	32.5	46.7
	父子+祖父母世帯	29	3.4	0.0	0.0	24.1	72.4		父子+祖父母世帯	29	3.4	0.0	0.0	20.7	75.9
管理栄養士	母子世帯	1441	0.4	0.0	4.5	45.1	50.0	簿記・速記	母子世帯	1441	20.1	0.3	8.9	30.7	40.0
	母子+祖父母世帯	218	0.0	0.0	6.9	45.4	47.7		母子+祖父母世帯	218	19.3	0.0	7.8	32.6	40.4
	父子世帯	120	0.0	0.0	3.3	45.0	51.7		父子世帯	120	12.5	0.0	6.7	34.2	46.7
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	3.4	20.7	75.9		父子+祖父母世帯	29	3.4	0.0	3.4	20.7	72.4
栄養士	母子世帯	1441	1.0	0.0	4.5	44.3	50.2	語学	母子世帯	1441	2.8	0.3	10.3	37.5	49.1
	母子+祖父母世帯	218	1.4	0.0	6.4	45.4	46.8		母子+祖父母世帯	218	2.3	0.0	11.5	39.4	46.8
	父子世帯	120	0.0	0.0	4.2	44.2	51.7		父子世帯	120	3.3	0.0	5.8	40.8	50.0
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	3.4	20.7	75.9		父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	6.9	17.2	75.9
保育士	母子世帯	1441	6.0	0.3	4.4	42.9	46.4	その他	母子世帯	1441	10.1	1.0	2.1	21.9	65.0
	母子+祖父母世帯	218	5.0	0.5	3.2	45.9	45.4		母子+祖父母世帯	218	12.4	0.5	1.4	27.1	58.7
	父子世帯	120	0.8	0.0	0.0	48.3	50.8		父子世帯	120	10.8	0.0	1.7	29.2	58.3
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9		父子+祖父母世帯	29	6.9	0.0	0.0	17.2	75.9
教員、幼稚園 教諭	母子世帯	1441	5.8	0.1	1.7	45.2	47.3								
	母子+祖父母世帯	218	5.0	0.0	2.3	46.8	45.9								
	父子世帯	120	0.8	0.0	0.0	48.3	50.8								
	父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	24.1	75.9								

3. 家計について

(1) 家計の状況

1) 家計の赤字・黒字

家計の状況については、「黒字でもなく赤字でもなくぎりぎりである」がいずれの世帯類型においても半数程度を占める(表 3-1)。それ以外をみると、父子+祖父母世帯を除き、赤字である世帯が黒字である世帯を上回っている。父子世帯においては「赤字であり借金をしている」が 2 割を超える。

表 3-1 家計の状況

(単位: %)

	サンプル数(人)	黒字であり毎月貯金をしている	黒字ではないが貯金	黒字でも赤字でもない	赤字であり貯金をと	赤字であり借金をしている	無回答
母子世帯	1441	10.0	4.3	49.3	19.4	14.6	2.4
母子+祖父母世帯	218	14.2	3.7	51.4	13.3	15.6	1.8
父子世帯	120	8.3	9.2	47.5	13.3	21.7	0.0
父子+祖父母世帯	29	10.3	17.2	44.8	10.3	10.3	6.9

2) 食料、衣類、暖房費の支払い

表 3-2 は、過去 1 年間に、経済的な理由で家族が必要とする物を買えなかったり、冬に暖房を使えなかったりした経験について示している。家族が必要なものが買えなかったことが「まったくなかった」のは半数から 6 割程にとどまり、冬に暖房を使えなかったことが「まったくなかった」は 7~8 割程となっている。特に単独の母子世帯、父子世帯においては「家族が必要とする衣類を買えなかった」について「まったくなかった」が半数を下回り、「よくあった」は 1 割を超える。また生計が同じ祖父母がいる世帯よりも、単独の母子世帯・父子世帯のほうが「よくあった」の回答割合が高い傾向にある。

表 3-2 過去 1 年間に、経済的な理由で経験したこと

(単位:%)

		サ ン プ ル 数 (人)	よ く あ っ た	と き ど き あ っ た	ま れ に あ っ た	ま っ た く な か っ た	無 回 答
家族が必要とする 食料を買えなかつ た	母子世帯	1441	6.2	12.5	18.8	60.7	1.7
	母子+祖父母世帯	218	5.0	9.2	11.9	72.0	1.8
	父子世帯	120	6.7	11.7	21.7	59.2	0.8
	父子+祖父母世帯	29	3.4	13.8	10.3	65.5	6.9
家族が必要とする 衣服を買えなかつ た	母子世帯	1441	10.5	15.7	24.0	48.6	1.1
	母子+祖父母世帯	218	9.2	9.2	16.5	63.3	1.8
	父子世帯	120	13.3	10.8	25.8	49.2	0.8
	父子+祖父母世帯	29	6.9	17.2	6.9	62.1	6.9
冬に暖房が使えな かった	母子世帯	1441	3.9	7.3	12.3	74.3	2.3
	母子+祖父母世帯	218	3.7	3.2	7.3	83.5	2.3
	父子世帯	120	5.8	10.0	10.8	72.5	0.8
	父子+祖父母世帯	29	0.0	10.3	6.9	75.9	6.9

3) 未払い、滞納の状況

表 3-3 は、9 項目の支払いそれぞれについて、過去 1 年間に経済的な理由で支払えなかったことがあるかを示している。全体的にみると、父子+祖父母世帯よりも父子世帯で「あった」が多い傾向にある。「公的年金」「公的医療保険」を除く項目で父子世帯が上回っている。一方母子世帯では、「公的年金」「公的医療保険」に加えて、「給食費」「学校や幼稚園・保育所へのその他の支払い」を除いた項目で母子+祖父母世帯よりも上回っている。また、母子世帯、母子+祖父母世帯と比べて、父子世帯、父子+祖父母世帯では「払う必要がない」と回答する割合が低い傾向にある。項目別にみると、「電話料金(携帯電話・スマートフォンを含む)」、「電気・ガス・水道のいずれかの料金」、「クレジットカードの支払いや他の借金の支払い」で「あった」が多い。一方で、「あった」が少ない支払としては、「公的医療保険」、「給食費」、「学校や幼稚園・保育所へのその他の支払い」となっている。また「税金」については父子世帯と父子+祖父母世帯で「あった」が多くなっている。

なお、「払う必要がない」の項目間の回答割合の差が大きいので、「払う必要がない」を除いて再集計した(再掲表 3-3)。当然ながら表 3-3 よりも「あった」の割合が全体的に高くなるが、大きな傾向は表 3-3 と変わらない。

表 3-3 過去 1 年間に、経済的な理由で支払いができなかった経験

(単位: %)

		サ ン プ ル 数 (人)	あ っ た	な か っ た	払 う 必 要 が な い	無 回 答			サ ン プ ル 数 (人)	あ っ た	な か っ た	払 う 必 要 が な い	無 回 答
電話料金(携 帯電話・ス マートフォン 含む)	母子世帯	1441	13.5	82.7	1.2	2.5	税金	母子世帯	1441	9.4	73.4	13.5	3.7
	母子+祖父母世帯	218	11.5	81.7	1.8	5.0		母子+祖父母世帯	218	8.7	78.0	8.7	4.6
	父子世帯	120	18.3	80.8	0.8	0.0		父子世帯	120	18.3	77.5	3.3	0.8
	父子+祖父母世帯	29	13.8	82.8	0.0	3.4		父子+祖父母世帯	29	17.2	72.4	6.9	3.4
電気・ガス・ 水道のいずれ かの料金	母子世帯	1441	17.2	79.0	1.9	1.9	給食費	母子世帯	1441	3.7	54.1	38.0	4.3
	母子+祖父母世帯	218	11.5	70.2	14.2	4.1		母子+祖父母世帯	218	5.5	55.5	32.6	6.4
	父子世帯	120	15.8	84.2	0.0	0.0		父子世帯	120	8.3	70.8	20.0	0.8
	父子+祖父母世帯	29	6.9	72.4	13.8	6.9		父子+祖父母世帯	29	6.9	79.3	10.3	3.4
家賃・住宅 ローンのいず れかの支払い	母子世帯	1441	10.5	76.5	10.0	3.0	学校や幼稚 園・保育所へ のその他の支 払い	母子世帯	1441	6.7	77.2	12.1	4.0
	母子+祖父母世帯	218	7.3	57.8	29.8	5.0		母子+祖父母世帯	218	8.7	74.3	11.9	5.0
	父子世帯	120	13.3	77.5	8.3	0.8		父子世帯	120	10.0	79.2	9.2	1.7
	父子+祖父母世帯	29	6.9	62.1	27.6	3.4		父子+祖父母世帯	29	3.4	89.7	3.4	3.4
公的年金	母子世帯	1441	8.3	72.2	15.5	4.0	クレジット カードや他の 借金の支払い	母子世帯	1441	17.4	68.6	10.8	3.1
	母子+祖父母世帯	218	9.6	69.7	15.1	5.5		母子+祖父母世帯	218	18.3	65.6	12.4	3.7
	父子世帯	120	11.7	75.8	9.2	3.3		父子世帯	120	26.7	64.2	9.2	0.0
	父子+祖父母世帯	29	20.7	69.0	6.9	3.4		父子+祖父母世帯	29	20.7	75.9	0.0	3.4
公的医療保険	母子世帯	1441	5.2	80.3	10.1	4.4							
	母子+祖父母世帯	218	7.3	76.6	9.6	6.4							
	父子世帯	120	7.5	83.3	6.7	2.5							
	父子+祖父母世帯	29	10.3	79.3	3.4	6.9							

再掲表 3-3 過去 1 年間に、経済的な理由で支払いができなかったことがあるもの(「払う必要がない」を除く)

(単位: %)

	マ ー ト フ ォ ン 含 む	電 話 料 金 (携 帯 電 話 ・ ス マ ー ト フ ォ ン 含 む	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 の い ず れ か の 料 金	家 賃 ・ 住 宅 ロ ー ン の い ず れ か の 支 払 い	公 的 年 金	公 的 医 療 保 険	税 金	給 食 費	学 校 や 幼 稚 園 ・ 保 育 所 へ の 支 払 い	借 金 の 支 払 い	ク レ ジ ット カ ー ド や 他 の 支 払 い
母子世帯	13.7	17.5	11.7	9.8	5.8	10.9	5.9	7.7	19.5		
母子+祖父母世帯	11.7	13.4	10.5	11.4	8.1	9.5	8.2	9.9	20.9		
父子世帯	18.5	15.8	14.5	12.8	8.0	19.0	10.4	11.0	29.4		
父子+祖父母世帯	13.8	8.0	9.5	22.2	10.7	18.5	7.7	3.6	20.7		

注: 各項目について、「あった」の回答割合。

(2) 世帯収入

1) 世帯年収

表 3-4 は、世帯年収(税込)を示している。年収 100 万未満までに母子世帯の 1 割程が含まれている。年収 200 万円未満までと、母子世帯の 4 割強、母子+祖父母世帯の 3 割程、父子世帯、父子+祖父母世帯の 2 割弱が含まれる。年収 300 万円未満まででは、母子世帯の 7 割強、母子+祖父母世帯のおよそ 6 割、父子世帯、父子+祖父母世帯の 4~5 割が含まれる。

表 3-4 世帯年収(税込)

(単位：%)

	サ ン プ ル 数 (人)	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	500 万 円 以 上	無 回 答
母子世帯	1441	9.6	35.0	31.9	13.5	3.6	2.2	4.2
母子+祖父母世帯	218	5.0	28.4	27.5	14.7	6.0	6.9	11.5
父子世帯	120	4.2	10.8	28.3	32.5	15.8	6.7	1.7
父子+祖父母世帯	29	6.9	10.3	27.6	27.6	10.3	6.9	10.3

2) 世帯収入の内訳

表 3-5 は世帯収入の内訳、表 3-6 は最も金額の大きい収入を示している。ほとんどの回答者が就労収入を得ており、それが世帯収入の中で最も金額が大きいという世帯が多い。回答者自身の就労収入が世帯収入の中で最も大きい世帯は、生計が同じ祖父母のいる世帯よりもそうでない世帯が多い。世帯収入に含まれるものの中で他に多いのは、「児童扶養手当」、「児童手当」である。また、生計が同じ祖父母がいる世帯では、回答者以外の家族の就労収入が含まれる世帯は 3 割程となっている。「元配偶者からの養育費・仕送り」は、母子世帯、母子+祖父母世帯でおよそ 2~3 割となっており、父子世帯、父子+祖父母世帯ではほとんどない。「生活保護費」が世帯収入に含まれているのは母子世帯に多いが、1 割に満たない。また、「生活保護費」が最も大きい収入である世帯はその 3 分の 1 程度である。

表 3-5 世帯年収の内訳

(複数回答, 単位: %)

	サンプル数(人)	あなたの就労収入	あなたの就労収入以外の家族	児童扶養手当	児童手当	遺族年金	当	その他の年金・手当	生活保護費	育児・配偶者からの養	元配偶者からの養	どからの仕送り	親・きょうだい	な賃・地代・利子	その他	無回答
母子世帯	1441	89.7	3.3	84.2	68.6	1.0	3.8	8.2	28.0	1.4	0.3	3.1	0.3			
母子+祖父母世帯	218	85.8	35.3	74.3	68.8	3.7	19.7	3.2	22.0	0.9	0.5	4.1	0.9			
父子世帯	120	94.2	2.5	63.3	62.5	0.0	1.7	2.5	3.3	2.5	2.5	3.3	0.0			
父子+祖父母世帯	29	86.2	31.0	69.0	58.6	3.4	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4			

表 3-6 年収に占める金額がもっとも大きい収入

(単位: %)

	サンプル数(人)	あなたの就労収入	あなたの就労収入以外の家族	児童扶養手当	児童手当	遺族年金	当	その他の年金・手当	生活保護費	育児・配偶者からの養	元配偶者からの養	どからの仕送り	親・きょうだい	な賃・地代・利子	その他	無回答
母子世帯	1441	61.0	0.3	4.0	0.5	0.3	0.8	2.9	1.2	0.1	0.1	0.5	28.4			
母子+祖父母世帯	218	45.9	9.2	2.3	0.5	0.9	2.8	0.9	0.9	0.0	0.0	0.5	36.2			
父子世帯	120	69.2	0.8	0.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	25.8			
父子+祖父母世帯	29	41.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.2			

3) 児童扶養手当の受給状況、住民税の課税状況

児童扶養手当の受給状況(表 3-7)をみると、ほとんどの母子世帯については児童扶養手当を受給しており、「受給していない」とする母子世帯は 1 割に満たない。母子+祖父母世帯、父子世帯、父子+祖父母世帯について「受給していない」はおよそ 2 割だが、父子世帯、父子+祖父母世帯では、「全額支給」となっているのは 3 割を下回っている。

住民税の課税状況(表 3-8)をみると、「非課税世帯である」のは、父子世帯、父子+祖父母世帯よりも母子世帯、母子+祖父母世帯に多く、母子世帯はおよそ半数となっている。父子世帯、父子+祖父母世帯については、「非課税世帯ではない」世帯が 7 割を上回る。

表 3-7 児童扶養手当の受給状況

(単位：%)

	サンプル数 (人)	全額支給	一部支給	受給していない	無回答
母子世帯	1441	46.6	44.0	8.1	1.3
母子+祖父母世帯	218	42.7	40.4	15.1	1.8
父子世帯	120	29.2	52.5	16.7	1.7
父子+祖父母世帯	29	20.7	55.2	20.7	3.4

表 3-8 住民税の課税状況

(単位：%)

	サンプル数 (人)	非課税世帯である	非課税世帯ではない	わからない	無回答
母子世帯	1441	50.2	40.3	8.5	1.0
母子+祖父母世帯	218	37.2	48.6	12.8	1.4
父子世帯	120	16.7	72.5	10.8	0.0
父子+祖父母世帯	29	10.3	75.9	10.3	3.4

4) 貯金について

「貯金はない」とする世帯が2割から3割あり、父子世帯、父子+祖父母世帯で3割を上回る(表 3-9)。

子どもの学資保険(表 3-10)は、「かけている」世帯よりも「かけていない」世帯のほうが多い。現在もかけている世帯は母子+祖父母世帯で多くなっている。

表 3-9 貯金額

(単位：%)

	サンプル数 (人)	貯金はない	10万円未満	100万円未満	100万円未満	200万円未満	300万円未満	500万円未満	1千万円未満	1千万円以上	無回答
母子世帯	1441	29.3	8.3	15.2	13.5	10.2	7.1	6.2	4.2	1.6	4.3
母子+祖父母世帯	218	21.1	8.7	20.6	10.1	10.6	7.3	7.3	5.5	1.8	6.9
父子世帯	120	34.2	11.7	12.5	15.8	10.0	6.7	4.2	3.3	0.8	0.8
父子+祖父母世帯	29	34.5	10.3	13.8	13.8	13.8	0.0	0.0	0.0	3.4	10.3

表 3-10 子どもの学資保険

(単位:%)

	サンプル数(人)	かけている	今はかけていないが以前はかけていたが	かけていない	その他	無回答
母子世帯	1441	36.6	13.3	46.6	1.6	1.9
母子+祖父母世帯	218	43.6	8.7	45.0	0.9	1.8
父子世帯	120	31.7	11.7	55.0	0.8	0.8
父子+祖父母世帯	29	20.7	20.7	51.7	0.0	6.9

5) 借金について

借金が無い世帯は、母子世帯、母子+祖父母世帯で5割弱、父子世帯で2割強、父子+祖父母世帯で1割程となっている(表 3-11)。ローンや借金の理由として多くあげられているのは、「自動車・オートバイの購入」となっている。次いで、「生活費の不足をおぎなうため」が多い。父子世帯、父子+祖父母世帯では、「住宅のため」、「滞納金や他の借金の返済のため」が、母子世帯、母子+祖父母世帯と比べて多くなっている。また、「子どもの教育費」は、母子世帯、父子世帯で比較的多く、1割程となっている。

表 3-11 ローンや借金の有無と理由

(複数回答,単位=%)

	サンプル数(人)	借金は無い	自分の教育費(奨学金・教育ローンなど)	子どもの教育費	住宅のため	自動車・オートバイの購入	他の大きな買い物	生活費の不足をおぎなうため	滞納金や他の借金の返済のため	事業のため	弁護士や司法書士への支払のため	その他	無回答
母子世帯	1441	45.7	3.5	10.7	6.8	23.5	5.6	18.4	7.6	0.6	2.6	2.6	2.8
母子+祖父母世帯	218	46.3	4.1	6.4	3.2	20.2	4.6	18.3	6.9	0.0	3.2	2.8	4.1
父子世帯	120	25.0	2.5	13.3	25.8	38.3	6.7	22.5	15.0	5.8	3.3	4.2	0.0
父子+祖父母世帯	29	10.3	0.0	3.4	17.2	41.4	3.4	10.3	20.7	10.3	0.0	0.0	3.4

4. 子育てについて

(1) 子どもの世話⁴

1) 就学前の子どもの世話

就学前の子どもの日中の世話については、母子世帯、母子+祖父母世帯において「保育所・託児所」が多く、父子世帯においては「幼稚園」が若干多くなっている(表 4-1、再掲表 4-1)。

表 4-1 ふだんの日中に、小学校入学前の子どもの世話を主にしている人

(単位：%)

	サンプル数(人)	はい	小学校入学前の子	保育所・託児所	幼稚園	あなた自身	同居の親・親せき	同居していない親	その他	無回答
母子世帯	1441	69.5	11.0	2.9	2.1	0.4	0.1	0.3	13.5	
母子+祖父母世帯	218	61.0	13.8	2.8	5.0	1.8	0.0	0.0	15.6	
父子世帯	120	79.2	4.2	5.8	0.8	0.0	2.5	0.0	7.5	
父子+祖父母世帯	29	72.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	24.1	

再掲表 4-1 ふだんの日中に、小学校入学前の子どもの世話を主にしている人(「小学校入学前の子はいない」世帯を除く)

(単位：%)

	サンプル数(人)	保育所・託児所	幼稚園	あなた自身	同居の親・親せき	同居していない親	その他	無回答	幼(再掲等計)保育所・幼稚園
母子世帯	439	36.2	9.6	6.8	1.4	0.5	1.1	44.4	45.8
母子+祖父母世帯	85	35.3	7.1	12.9	4.7	0.0	0.0	40.0	42.4
父子世帯	25	20.0	28.0	4.0	0.0	12.0	0.0	36.0	48.0
父子+祖父母世帯	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0

注：「(再掲) 保育所・幼稚園等計」は、「保育所・託児所」と「幼稚園」の合計。

2) 小学生の子どもの世話

小学生の子どもの放課後の世話について、単独の母子世帯と父子世帯では「学童保育・児童館」と「子ども・きょうだいだけですごす」が多くなっている(表 4-2、再掲表 4-2)。また、同居あるいは同居していない親・親せきが主に世話をしている世帯について、生計が同じ祖父母がいる母子世帯と父子世帯で多くなっているが、単独の母子世帯で1割、父子世帯でも2割と「学童保育・児童館」や「子ども・きょうだいだけですごす」と大きく変わらない。

⁴ 表 4-1,4-2 と再掲表 4-1,4-2 について、無回答の割合が多くなっており、表の読み取りには注意が必要。

表 4-2 ふだんの放課後に、小学生の子どもの世話を主にしている人

(単位：%)

	サンプル数(人)	小学生の子はいない	学童保育・児童館	あなた自身	同居の親・親せき	同居していない親	親以外の同居していない親せき	友人・知人・近所	子ども・きょうだい	その他	無回答
母子世帯	1441	45.4	11.6	9.1	2.0	3.2	0.3	0.2	11.2	1.6	15.4
母子+祖父母世帯	218	50.5	6.0	7.3	17.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	17.4
父子世帯	120	53.3	9.2	7.5	4.2	5.0	0.8	0.0	10.0	0.8	9.2
父子+祖父母世帯	29	34.5	3.4	3.4	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7

再掲表 4-2 ふだんの放課後に、小学生の子どもの世話を主にしている人（「小学生の子はいない」世帯を除く）

(単位：%)

	サンプル数(人)	学童保育・児童館	あなた自身	同居の親・親せき	同居していない親	親以外の同居していない親せき	友人・知人・近所	子ども・きょうだい	その他	無回答	き(再掲)親・親せき
母子世帯	787	21.2	16.6	3.7	5.8	0.5	0.4	20.6	2.9	28.2	10.0
母子+祖父母世帯	108	12.0	14.8	35.2	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	35.2	35.2
父子世帯	56	19.6	16.1	8.9	10.7	1.8	0.0	21.4	1.8	19.6	21.4
父子+祖父母世帯	19	5.3	5.3	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	57.9

注：「(再掲)親・親せき計」は、「同居の親・親せき」、「同居していない親」、「親以外の同居していない親せき」の合計。

3) 病気などのときに世話を頼む相手

自分が病気などの時に、子どもの世話や自分の身の回りの世話を頼む相手について(表 4-3)は、生計が同じ祖父母がいる世帯では「同居の家族」、単独の母子世帯と父子世帯では「別居の家族・親せき」が多くなっている。また、「誰もいない」という世帯について、特に単独の母子世帯と父子世帯で1割を超えている。

表 4-3 自分が病気などの時に、子どもの世話や自分の身の回りの世話を頼む相手

(複数回答単位：%)

	サンプル数(人)	同居の家族	別居の家族・親せき	元配偶者(子ども)	近所の人	職場の人	知人以外の友人	家政婦・家事代行	その他の公的機関	その他	誰もいない	無回答
母子世帯	1441	15.5	64.0	5.4	0.8	0.6	8.2	0.3	1.3	1.5	16.7	1.4
母子+祖父母世帯	218	91.3	17.0	1.4	0.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.9	4.1	0.5
父子世帯	120	14.2	60.0	11.7	0.8	0.0	5.0	0.8	0.0	0.0	18.3	0.8
父子+祖父母世帯	29	89.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3

4) 子どもと一緒に食事をとる頻度

子どもと一緒に食事をとる頻度について(表 4-4)、いずれの世帯類型においても、夕食よりも朝食で「ほとんどない」が多く、「ほとんど毎日」とる世帯は半数を下回っている。

表 4-4 週のうち、子どもと一緒に食事をとる日数

(単位:%)

		サンプル数(人)	ほとんど毎日	週に半分くらい	ほとんどない	無回答
子どもと朝食をいっしょにとること	母子世帯	1441	45.8	15.0	35.5	3.7
	母子+祖父母世帯	218	48.6	18.8	28.9	3.7
	父子世帯	120	27.5	20.8	50.0	1.7
	父子+祖父母世帯	29	34.5	13.8	34.5	17.2
子どもと夕食をいっしょにとること	母子世帯	1441	71.8	16.5	7.7	4.0
	母子+祖父母世帯	218	66.1	21.6	8.7	3.7
	父子世帯	120	54.2	22.5	20.8	2.5
	父子+祖父母世帯	29	44.8	31.0	10.3	13.8

(2) 子どもについての悩みについて

1) 子どもについての悩みの内容

表 4-5 は、子どもについての悩みの有無と悩みの内容について示している。「特に悩みがない」とする世帯は、2~3割となっている。悩みの内容としては、「子どもの学習や進路」が最も多い。次いで、「子どもの発達やしつけ」、「子どもの友達関係」、「子どもとの団らんや話し合いの時間が持てない」、「子どもの就職」が挙げられている。また、母子世帯、母子+祖父母世帯で「子どもの病気や障がい」が多くなっており、1割程となっている。

表 4-5 子どものもことで悩んでいること

(複数回答単位:%)

	サンプル数(人)	子どもの時間が取れず話し	親子関係	子どもの病気や障がい	子どもの発達やしつけ	保育園や学校でのようす	子どもの友達関係	子どもの学習や進路	子どもの不登校やひきこもり	いじめ	子どもの非行	子どもの就職	その他	とくに悩みはない	無回答
母子世帯	1441	14.9	8.6	13.0	22.6	7.9	16.4	43.4	7.4	2.2	1.6	12.8	4.1	26.0	2.6
母子+祖父母世帯	218	9.6	8.7	11.0	25.7	10.1	15.6	40.8	4.6	2.3	0.5	11.5	2.8	28.9	2.3
父子世帯	120	22.5	5.0	6.7	20.8	7.5	17.5	43.3	5.8	0.8	1.7	17.5	1.7	25.0	1.7
父子+祖父母世帯	29	17.2	6.9	6.9	13.8	3.4	10.3	31.0	3.4	6.9	0.0	6.9	0.0	34.5	13.8

2) 子どもについての困りごとや悩みの相談相手

子どものことで困ったことや悩みがあるときの相談相手について(表 4-6)、生計が同じ祖父母がいる世帯では「同居の家族」、単独の母子世帯と父子世帯では「別居の家族・親せき」が多い。また、母子世帯と母子+祖父母世帯では、家族以外の友人・知人も多くなっている。一方「誰もいない」とする世帯も見られ、特に父子世帯、父子+祖父母世帯で多くなっている。

表 4-6 子どもで困ったことや悩みがあるときに相談する相手

(複数回答 単位: %)

	サンプル数(人)	同居の家族	別居の家族・親せき	親元配偶者(子どもの)	近所の人	職場の人	それ以外の友人・知人	などの先生	保育園・幼稚園・学校	母子・公的な自立支援員	その他	誰もいない	無回答
母子世帯	1441	11.2	56.0	6.6	1.2	22.8	45.3	18.1	3.9	4.4	9.7	1.8	
母子+祖父母世帯	218	72.0	16.1	5.0	0.9	23.4	43.6	19.3	4.6	3.2	6.4	0.5	
父子世帯	120	12.5	53.3	10.8	0.8	17.5	19.2	15.8	5.0	4.2	17.5	0.0	
父子+祖父母世帯	29	65.5	3.4	0.0	0.0	17.2	13.8	13.8	0.0	0.0	17.2	6.9	

(3) 旅行等の経験

昨年1年間で、親子で旅行やキャンプに行ったかについて、「行かなかった」が6~7割となっている(表 4-7)。

表 4-7 昨年1年間に親子で旅行やキャンプに行ったか

(単位: %)

	サンプル数(人)	行った	行かなかった	無回答
母子世帯	1441	32.0	67.0	1.0
母子+祖父母世帯	218	26.6	73.4	0.0
父子世帯	120	37.5	61.7	0.8
父子+祖父母世帯	29	24.1	69.0	6.9

(4) 子どもの教育・子育てに関する支出

子どもの教育などにかかった金額を、①学校・保育所・幼稚園にかかった金額、②学習塾・家庭教師・通信教育等、③習い事、スポーツクラブ等、④すべての費用の合計額、それぞれについてたずねた。いずれも1か月のす

すべての子どもの合計額である。⁵

学校・保育所・幼稚園にかかった金額(表 4-8-1)については、「5千円未満」から「～3万円未満」を中心に分布している。「0円」は、母子世帯、母子+祖父母世帯で1割程、父子世帯、父子+祖父母世帯で3～4%となっている一方で、5万円以上(「～6万円未満」から「7万円以上」)の世帯は1割程となっている。

学習塾・家庭教師・通信教育等にかかった金額(表 4-8-2)については、「利用していない」世帯が最も多い。支出がある世帯の回答をみると、「5千円未満」から「～4万円未満」の範囲を中心に広く分布している。

習い事・スポーツクラブ等にかかった金額(表 4-8-3)について、学習塾等と似た回答分布であるが、学習塾等よりも「5千円未満」から「～1万円未満」の分布が多めになっている。

子どもにかかった費用の合計額(表 4-8-4)については、「2万円未満」、「～3万円未満」の回答がやや多いものの、1万円刻みのすべてのカテゴリに回答が分布している。「9万円以上」も母子世帯と父子世帯で1割を上回っている。

表 4-8-1 ここ1ヶ月で学校・保育所・幼稚園にかかった金額(すべての子どもの合計額)

(単位:%)

	サンプル数(人)	0円	5千円未満	1万円未満	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	6万円未満	7万円未満	7万円以上	無回答
母子世帯	1441	8.5	15.6	18.1	19.9	11.7	6.4	3.5	3.3	1.8	7.0	4.1
母子+祖父母世帯	218	11.9	17.4	19.7	17.0	10.6	3.7	3.2	1.4	1.4	8.3	5.5
父子世帯	120	4.2	12.5	22.5	21.7	10.8	6.7	5.8	2.5	2.5	8.3	2.5
父子+祖父母世帯	29	3.4	13.8	13.8	24.1	20.7	3.4	3.4	3.4	0.0	3.4	10.3

注:金額には、教材費、給食費、通学費、部活費用、授業料など含む。

表 4-8-2 ここ1ヶ月で学習塾、家庭教師、通信教育等にかかった金額(すべての子どもの合計額)

(単位:%)

	サンプル数(人)	利用していない	5千円未満	1万円未満	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	6万円未満	7万円未満	7万円以上	無回答
母子世帯	1441	67.9	5.1	7.9	6.9	3.9	2.2	1.0	1.0	0.5	0.9	2.5
母子+祖父母世帯	218	64.2	3.7	7.8	8.3	4.1	3.2	0.9	1.4	0.0	0.9	5.5
父子世帯	120	77.5	5.0	3.3	4.2	4.2	1.7	0.8	0.0	0.0	1.7	1.7
父子+祖父母世帯	29	55.2	6.9	17.2	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3

⁵ 調査は令和4年8月1日～8月31日に実施し、令和4年7月1日現在の状況での回答を求めた。進学や進級に伴う大きな支出の発生が少ない時期の教育・子育てに関する支出についての回答であることが想定される。ただし、実施期間は夏休み期間と重なっているため、長期休み特有の支出が反映している可能性もある。

表 4-8-3 ここ1ヵ月で、習い事・スポーツクラブ等にかかった金額（すべての子どもの合計額）

(単位:%)

	サンプル数（人）	通っていない	5千円未満	1万円未満	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	6万円未満	7万円未満	7万円以上	無回答
母子世帯	1441	66.9	9.3	9.9	6.2	1.7	1.1	0.4	0.4	0.1	1.0	2.8
母子+祖父母世帯	218	67.9	7.3	9.2	6.9	1.4	0.5	0.5	0.9	0.0	0.9	4.6
父子世帯	120	70.0	14.2	4.2	3.3	2.5	1.7	0.8	0.0	0.8	0.8	1.7
父子+祖父母世帯	29	48.3	13.8	13.8	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	10.3

注:表4-8-2の金額を除く。

表 4-8-4 ここ1ヶ月で子どもにかかった全ての費用（すべての子どもの合計額）

(単位:%)

	サンプル数（人）	0円	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	6万円未満	7万円未満	8万円未満	9万円未満	9万円以上	無回答
母子世帯	1441	1.3	17.8	17.7	13.2	9.4	9.6	6.5	4.1	3.7	12.0	4.6
母子+祖父母世帯	218	4.1	19.7	17.9	15.6	8.3	7.8	5.5	4.1	3.7	7.3	6.0
父子世帯	120	1.7	15.8	21.7	15.8	8.3	11.7	5.8	5.0	3.3	10.8	0.0
父子+祖父母世帯	29	0.0	31.0	17.2	17.2	3.4	3.4	10.3	3.4	0.0	3.4	10.3

注:表4-8-1, 表4-8-2, 表4-8-3の金額に、医療費や食費等を加えた金額。

(5) 子どもに期待する学歴

表 4-9 は子どもに期待する最終学歴を示している。母子世帯と母子+祖父母世帯では「大学卒業以上」が最も多く、次いで「高校」となっている。一方で父子世帯と父子+祖父母世帯では「高校」が最も多く3割強となっており、「大学卒業以上」は2割を下回る。また、「専門学校」は単独の母子世帯と父子世帯で1割を上回っている。

表 4-9 子どもに期待する最終学歴

(単位:%)

	サンプル数（人）	中学	高校	高等専門学校	短期大学	専門学校	大学卒業以上	まだわからない	その他	無回答
母子世帯	1441	0.2	25.7	3.3	2.6	14.1	27.4	21.3	2.7	2.6
母子+祖父母世帯	218	0.5	20.6	1.8	3.2	9.6	35.3	23.9	3.2	1.8
父子世帯	120	0.8	35.0	4.2	3.3	16.7	17.5	20.0	1.7	0.8
父子+祖父母世帯	29	0.0	34.5	3.4	6.9	6.9	10.3	27.6	3.4	6.9

5. ひとり親家庭になる前後の状況

(1) ひとり親家庭になった理由

ひとり親家庭になった理由(表 5-1)としては、「離別(協議中などを含む)」がもっとも多い。次いで、母子世帯と母子+祖父母世帯で「未婚」、父子世帯と父子+祖父母世帯で「死別」となっている。

表 5-1 ひとり親家庭になった理由

(単位:%)

	サンプル数(人)	を離別(協議中など含む)	死別	未婚	非婚	その他	無回答
母子世帯	1441	88.6	1.5	7.8	0.4	0.8	1.0
母子+祖父母世帯	218	73.4	0.9	21.1	0.0	1.4	3.2
父子世帯	120	92.5	5.0	0.8	0.0	0.0	1.7
父子+祖父母世帯	29	86.2	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4

(2) ひとり親家庭になってからの年数

ひとり親家庭になってから現在まで何年になるかを示しているのが表 5-2 である。いずれの世帯類型においても5年以上から15年未満という年数である世帯の分布が多く、4割から6割を占めている。母子世帯と母子+祖父母世帯について、15年以上の年数である世帯が1割を占めている。

表 5-2 ひとり親になってから現在まで何年になるか

(単位:%)

	サンプル数(人)	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	15年未満	15年以上	無回答
母子世帯	1441	7.6	9.2	7.3	6.2	8.0	29.3	21.8	10.0	0.6
母子+祖父母世帯	218	7.3	6.9	6.9	4.6	4.6	23.4	34.4	10.1	1.8
父子世帯	120	9.2	10.0	7.5	10.0	11.7	30.8	16.7	4.2	0.0
父子+祖父母世帯	29	0.0	3.4	10.3	6.9	6.9	34.5	31.0	3.4	3.4

(3) ひとり親家庭になる前の時期に経験したこと

ひとり親家庭となる前の時期に経験したことについて、10項目たずねた(表5-3)。女性(母子世帯、母子+祖父母世帯)と男性(父子世帯、父子+祖父母世帯)の回答割合の差が大きい項目と、小さい項目がある。

女性と男性で回答割合の差が小さい項目は、割合の高いものから「借金の問題」、「ギャンブルの問題」、「失業・不就労の問題」があげられる。

回答割合の差が大きいものについて、「主な稼ぎ手が生活費を入れない問題」は女性の回答割合が高くその差も大きい。「元配偶者からのあなたへの暴言・暴力」も同様に女性の回答割合が高いが、男性の回答も1割強ある。一方で「元配偶者の病気や障がい」は男性の回答割合が女性を上回る。

表5-3 ひとり親家庭になる前の時期に経験したこと

(複数回答単位:%)

	サンプル数(人)	失業・不就労の問題	ギャンブルの問題	アルコールや薬物の問題	借金の問題	主な稼ぎ手が生活費を入れない問題	子どもへの暴力・虐待	子どもの病気や障がい	元配偶者の病気や障がい	あなたの病気や障がい	元配偶者からのあなたへの暴言・暴力	当てはまるものはない	無回答
母子世帯	1441	12.6	15.5	6.0	26.0	21.7	9.2	5.8	5.3	6.5	32.7	29.1	2.6
母子+祖父母世帯	218	11.0	13.3	5.0	22.0	16.5	5.5	4.6	2.3	5.5	22.5	37.6	5.5
父子世帯	120	10.0	3.3	0.0	25.8	2.5	8.3	7.5	12.5	3.3	18.3	43.3	1.7
父子+祖父母世帯	29	17.2	10.3	0.0	13.8	0.0	20.7	6.9	10.3	6.9	13.8	34.5	10.3

(4) ひとり親家庭になる前後で経験したこと

1) ひとり親家庭になる前後で対応が難しかったこと

ひとり親家庭での生活をはじめる前後で対応が難しかったことについて(表5-4)、母子世帯と母子+祖父母世帯では、「当面の生活費を確保すること」、「仕事を探すこと」、「自分が心身の健康をくずしたこと」の順番で割合が高い。また「住居を探すこと」、「相談先や利用できる制度がわからなかったこと」も2割程となっている。一方で、父子世帯では「当面の生活費を確保すること」がもっとも多いのは同様であるが、次に多いのが「相談先や利用できる制度がわからなかったこと」となっており、3割を大きく上回っている。父子+祖父母世帯でもこの回答が3割近い。

表 5-4 ひとり親になる前後で対応が難しかったこと

(複数回答, 単位: %)

	サンプル数(人)	住居を探すこと	仕事を探すこと	当面の生活費を確保すること	子どもが転校先になじめなかつたこと	子どもの保育員を探すこと	自分が心身の健康をくずしたこと	子どもが心身の健康をくずしたこと	相談先や利用できる制度がわからなかつたこと	元配偶者からの暴力	その他	無回答
母子世帯	1441	28.9	36.7	64.1	4.0	13.6	32.5	14.4	19.6	6.2	6.4	6.5
母子+祖父母世帯	218	14.7	42.2	49.1	3.7	14.2	25.2	6.4	20.6	4.1	5.5	13.3
父子世帯	120	14.2	17.5	40.8	2.5	12.5	20.8	11.7	37.5	2.5	10.0	9.2
父子+祖父母世帯	29	6.9	20.7	24.1	6.9	13.8	24.1	3.4	27.6	0.0	13.8	20.7

2) ひとり親家庭の生活をはじめる時に相談、利用したところ

ひとり親家庭として生活をはじめるにあたり、相談したり、利用したところ(表 5-5)について、いずれの世帯類型においても、「相談も利用もしていない」がもっとも多い。相談、利用したところについては、「市役所・役場の窓口」がもっとも多くなっている。母子世帯、母子+祖父母世帯では、その他に「家庭裁判所」、「弁護士・司法書士」、「法テラス」の回答が1~2割となっている。一方で、父子世帯と父子+祖父母世帯では「市役所・役場の窓口」以外の回答についてすべて1割に満たない。

表 5-5 ひとり親家庭の生活をはじめるにあたり、相談、利用したところ

(複数回答, 単位: %)

	サンプル数(人)	家庭裁判所	弁護士・司法書士	法テラス(日本司法支援センター)	母子家庭等・就業自立支援センター	配偶者暴力相談支援センター	市役所・役場の窓口	母子・父子自立支援員	NPO法人等の相談機関	その他	相談も利用もしていない	無回答
母子世帯	1441	20.2	15.2	13.1	7.1	1.5	36.7	3.5	1.0	2.7	40.5	2.2
母子+祖父母世帯	218	18.8	18.3	11.5	9.2	1.4	35.3	3.7	0.9	2.3	40.8	5.5
父子世帯	120	9.2	8.3	7.5	5.8	0.0	39.2	3.3	1.7	1.7	48.3	0.8
父子+祖父母世帯	29	3.4	6.9	3.4	3.4	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	65.5	10.3

3) 市町村窓口での手続きや母子・父子自立支援員との相談で経験したこと

ひとり親家庭での生活をはじめるにあたり、市町村窓口での手続きや母子・父子自立支援員との相談についての感想を持ったかを示しているのが表 5-6 である。「必要な制度などを紹介してもらえた」、「相談先や手続きがわかりやすかつた」については、肯定的な感想をもつ世帯がわずかに多い傾向が見られる。一方で、「悩みや不安を聞いてもらえた」、「相談しやすい雰囲気や対応だった」、「場所や時間が相談に行きやすいものだった」

た」については、否定的な感想を持つ世帯も比較的多く、それぞれの項目において「まったく思わない」が2割を超える世帯も見られる。

表 5-6 市町村窓口での手続きや母子・父子自立支援員との相談についての感想

(単位:%)

		サンプル数(人)	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	無回答
必要な制度などを紹介してもらえた	母子世帯	1441	14.0	31.2	22.6	13.3	13.5	5.4
	母子+祖父母世帯	218	19.7	29.4	26.6	8.3	8.7	7.3
	父子世帯	120	18.3	32.5	24.2	10.0	10.8	4.2
	父子+祖父母世帯	29	10.3	20.7	20.7	6.9	17.2	24.1
悩みや不安を聞いてもらった	母子世帯	1441	8.5	15.5	29.2	16.3	24.8	5.6
	母子+祖父母世帯	218	11.5	16.5	36.2	6.4	21.1	8.3
	父子世帯	120	8.3	15.8	40.0	12.5	18.3	5.0
	父子+祖父母世帯	29	6.9	10.3	27.6	3.4	27.6	24.1
相談しやすい雰囲気や対応だった	母子世帯	1441	11.0	20.0	26.9	15.1	21.4	5.8
	母子+祖父母世帯	218	12.8	22.5	28.4	11.0	16.5	8.7
	父子世帯	120	11.7	25.0	32.5	13.3	13.3	4.2
	父子+祖父母世帯	29	10.3	10.3	27.6	3.4	24.1	24.1
相談先や手続きがわかりやすかった	母子世帯	1441	9.8	23.5	27.5	16.7	16.5	6.0
	母子+祖父母世帯	218	14.2	22.5	30.3	13.3	12.4	7.3
	父子世帯	120	10.8	28.3	33.3	13.3	10.0	4.2
	父子+祖父母世帯	29	13.8	13.8	31.0	6.9	10.3	24.1
場所や時間が相談に行きやすいものだった	母子世帯	1441	7.4	15.8	32.3	18.6	20.1	5.7
	母子+祖父母世帯	218	11.0	20.2	33.9	11.0	16.1	7.8
	父子世帯	120	8.3	16.7	36.7	10.8	22.5	5.0
	父子+祖父母世帯	29	6.9	10.3	34.5	10.3	13.8	24.1

ちなみに、より良い相談のありかたを考えるための意見を自由記述で求めたところ、大まかに以下のような意見が出された。

- ・担当者の態度・知識について:「わからない事だらけなのに、素っ気ない対応をされると不安になる」
- ・相談場所について:「小さな市町村はどうしても人の目が気になり、利用したくてもできない。電話や手紙で連絡後、人目の付かなさそうな所で手続きや相談ができると有り難いです」
- ・離婚前後の手続きに関わって:「離婚時に、どんな支援を受けられるのか、もっと教えてほしかった」
- ・窓口の利用時間について:「平日フルタイムで働いていると、役所に行く時間がなく、難しい」
- ・手続きの問題について:「手続きする課がバラバラで、その都度、必要書類があるので、連日、役所通いで仕事を休まなければならなかった」
- ・制度の情報提供について:「どんな制度があるのか、しっかり調べて聞かないと、必要な情報が得られない。もう少し不安な気持ちをくみ取って、制度を紹介してほしい」

4) 市役所・役場などから受け取りたい情報、相談したいこと

市役所・役場などから受け取りたい情報や相談したいこと(表 5-7)について、いずれの世帯類型においても、「教育費・奨学金に関すること」が多くなっている。ただし、父子世帯と父子+祖父母世帯では「特にない」がもっとも多く、4割を超えている。そのほかの項目をみると、「支払いの滞納や借金に関すること」が父子世帯と父子+祖父母世帯で多くなっており、一方で「仕事や資格に関すること」、「養育費の受け取りに関すること」、「住宅に関すること」については母子世帯と母子+祖父母世帯が多い。

表 5-7 市役所、役場から受け取りたい情報や相談したいこと

(複数回答, 単位: %)

	サンプル数(人)	仕事や資格に関すること	子育てに関すること	養育費の受け取りに関すること	教育費・奨学金に関すること	住宅に関すること	自分の健康に関すること	支払いの滞納や借金に関すること	その他	特にない	無回答
母子世帯	1441	18.7	17.1	9.2	42.7	16.8	6.1	8.0	2.2	35.6	3.9
母子+祖父母世帯	218	18.8	26.6	11.0	40.8	12.4	5.5	7.8	0.9	32.1	3.7
父子世帯	120	11.7	19.2	3.3	36.7	9.2	7.5	15.8	0.0	41.7	1.7
父子+祖父母世帯	29	3.4	17.2	6.9	27.6	6.9	0.0	10.3	0.0	48.3	10.3

(5) 財産分与

元配偶者(子どもの親)から財産の分与があったかについて、表 5-8 で示している。いずれの世帯においても「財産分与があった」世帯は少ない。特に単独の父子世帯は1割を大きく下回っており、「相手の借金を払うことになった」世帯が1割程となっている。「財産分与がなかった」あるいは「財産自体がなかった」が多くなっているが、母子世帯、母子+祖父母世帯では「財産がなかった」がもっとも多く、父子世帯では「財産分与がなかった」がもっとも多い。

表 5-8 離婚のときに財産の分与はあったか

(単位: %)

	サンプル数(人)	財産分与があった	た財産分与がなかった	た財産自体がなかった	相手の借金を払うことになった	その他	無回答
母子世帯	1441	12.3	33.2	41.2	5.3	3.5	4.5
母子+祖父母世帯	218	10.6	33.5	41.3	4.1	4.6	6.0
父子世帯	120	3.3	42.5	35.8	12.5	2.5	3.3
父子+祖父母世帯	29	13.8	34.5	34.5	6.9	0.0	10.3

注: 離婚の理由が死別である場合、財産を受け取ったかどうかにもとづいて回答。

(6) 養育費

表 5-9-1 は、養育費の受け取りの状況を示している。母子世帯と母子+祖父母世帯では、およそ半数が受け取ったことがないとしている。現在受け取っている世帯は3割程で、その多くは定期的に受け取っている。一方で父子世帯と父子+祖父母世帯では、受け取ったことがない世帯がほとんどとなっている。

現在、定期的あるいは不定期に養育費を受け取っている世帯において、養育費の金額が決まっているかどうか、また決まっている場合の1か月あたりの金額を示しているのが表 5-9-2 である。金額が決まっていないという世帯は少なく、金額については4万円未満に半数以上が分布している。

離婚の際に、元配偶者(子どもの親)と養育費について取り決めをしているかどうか(表 5-9-3、再掲表 5-9-3)について、母子世帯と母子+祖父母世帯では取り決めをしている世帯が半数を超える。また文書を交わした取り決めのある世帯が文書を交わしていない世帯よりも多い。一方、父子世帯と父子+祖父母世帯では、取り決めをしていない世帯や話し合い自体をしていない世帯が半数を超える。

養育費に関する話し合いにおいて経験したことについて(表 5-9-4、再掲表 5-9-4)、いずれの世帯類型においても、「相手が支払わない・支払えないと思った」、「相手に支払う意思や支払い能力がなかった」と回答する世帯が多い。

表 5-9-1 養育費の受け取り状況

(単位:%)

	サンプル数(人)	現在も定期的にうけとっている	不定期だが現在もうけとっている	うけとったことがあるが、現在うけとっていない	うけとったことがない	その他	該当しない(死別等)	無回答
母子世帯	1441	29.5	6.6	12.1	45.5	2.4	2.8	1.2
母子+祖父母世帯	218	29.8	1.4	11.5	47.7	1.8	6.4	1.4
父子世帯	120	6.7	0.8	1.7	82.5	2.5	5.8	0.0
父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	86.2	0.0	6.9	6.9

表 5-9-2 1 か月あたりの養育費の金額

(単位:%)

	サンプル数(人)	金額は決まってい	2万円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	7万円未満	10万円未満	15万円未満	15万円以上	等該当しない(死別)	無回答
母子世帯	520	3.1	13.5	20.6	17.7	14.4	16.0	8.5	2.7	0.8	0.0	2.9
母子+祖父母世帯	67	1.5	16.4	25.4	23.9	6.0	11.9	10.4	0.0	1.5	0.0	3.0
父子世帯	9	11.1	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
父子+祖父母世帯	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注:表5-9-1で「現在もうけとっている」、「不定期だが現在もうけとっている」場合のみ回答。

表 5-9-3 養育費の取り決め状況

(単位:%)

	サンプル数(人)	文書を決め	文書を決め	文書を決め	話し合い	話し合い	無回答
母子世帯	1441	37.9	16.9	14.5	21.0	3.9	5.8
母子+祖父母世帯	218	32.6	14.7	10.1	22.5	10.1	10.1
父子世帯	120	18.3	15.0	21.7	29.2	9.2	6.7
父子+祖父母世帯	29	3.4	13.8	17.2	48.3	3.4	13.8

再掲表 5-9-3 養育費の取り決め状況 (「該当しない(死別等)」を除く)

(単位:%)

	サンプル数(人)	文書を決め	文書を決め	文書を決め	話し合い	無回答
母子世帯	1385	39.4	17.6	15.1	21.9	6.0
母子+祖父母世帯	196	36.2	16.3	11.2	25.0	11.2
父子世帯	109	20.2	16.5	23.9	32.1	7.3
父子+祖父母世帯	28	3.6	14.3	17.9	50.0	14.3

注:表5-9-3「該当しない(死別等)」を除いた回答割合。

表 5-9-4 養育費の話し合いにおいて経験したこと

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	自分がかたが話し合いをもちた	相手がかたが話し合いにに応じた	相手に支払う意思や支払	話し合いがまとまらな	相手が支払わない・支払	養育費を請求できなかった	交渉中(予定を含む)	その他	該当しない(死別等)	無回答
母子世帯	1441	14.6	16.9	33.4	17.8	29.2	1.5	1.5	6.9	9.0	16.7
母子+祖父母世帯	218	16.5	11.0	29.8	15.1	27.5	0.5	2.3	8.7	14.2	18.8
父子世帯	120	11.7	15.0	36.7	4.2	32.5	2.5	0.0	6.7	13.3	13.3
父子+祖父母世帯	29	31.0	13.8	34.5	6.9	44.8	0.0	0.0	0.0	3.4	13.8

再掲表 5-9-4 養育費の話し合いにおいて経験したこと(「該当しない(死別等)」を除く)

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	自分がかたが話し合いをもちた	相手がかたが話し合いにに応じた	相手に支払う意思や支	話し合いがまとまらな	相手が支払わない・支	養育費を請求できなかった	交渉中(予定を含む)	その他	無回答
母子世帯	1311	16.1	18.5	36.7	19.6	32.1	1.7	1.7	7.6	18.4
母子+祖父母世帯	187	19.3	12.8	34.8	17.6	32.1	0.5	2.7	10.2	21.9
父子世帯	104	13.5	17.3	42.3	4.8	37.5	2.9	0.0	7.7	15.4
父子+祖父母世帯	28	32.1	14.3	35.7	7.1	46.4	0.0	0.0	0.0	14.3

注:表5-9-4「該当しない(死別等)」を除いた回答割合。

6. 回答者本人のこれまでと現在の生活

(1) 回答者の親の居住地

回答者の親の現在の居住地は(表 6-1)、母親と父親いずれも、同居あるいは同じ市町村内であるものが多く、母親のほうが割合が高い。一方で父親の場合「亡くなっている」、「わからない」というものが多くなっている。

表 6-1 回答者の親の現在の居住地

		(単位:%)								
		サンプル数(人)	同居している	同じ市町村内	道内	道外	亡くなっている	わからない	その他	無回答
回答者の父親	母子世帯	1441	9.2	45.1	19.8	3.5	18.2	2.5	0.9	0.7
	母子+祖父母世帯	218	63.3	4.1	4.1	1.4	20.6	2.8	1.4	2.3
	父子世帯	120	8.3	39.2	16.7	5.0	27.5	0.8	2.5	0.0
	父子+祖父母世帯	29	75.9	0.0	3.4	0.0	13.8	3.4	0.0	3.4
回答者の母親	母子世帯	1441	11.5	51.3	20.4	3.2	10.7	1.2	1.0	0.7
	母子+祖父母世帯	218	88.1	2.8	2.3	0.0	4.6	0.0	0.5	1.8
	父子世帯	120	10.8	47.5	19.2	5.0	15.0	0.8	1.7	0.0
	父子+祖父母世帯	29	89.7	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4

(2) 親からの援助

ひとり親家庭での生活をはじめたころと、現在それぞれにおける、回答者の親からの援助の状況について、表 6-2 で示している。生計が同じ祖父母がいる世帯のほうが、単独の母子世帯と父子世帯よりも援助がある割合が高く、母子世帯(母子+祖父母世帯)のほうが父子世帯(父子+祖父母世帯)よりも援助がある割合が高い。現在親からの援助がない世帯は、単独の父子世帯で4割、単独の母子世帯で3割となっている。援助の種類については、「子育てについて援助」と「食料など物での援助」を受けている世帯が多く、「お金の援助」よりも高い割合となっている。

表 6-2 回答者の親からの援助

(複数回答,単位:%)

		サンプル数(人)	お金の援助	子育てについて	住まいについて	援助食料など物での	援助はなかった	無回答
ひとり親家庭の生活をはじめたころ	母子世帯	1441	24.4	49.6	26.4	52.7	25.2	1.1
	母子+祖父母世帯	218	33.5	75.2	68.3	59.2	5.0	1.8
	父子世帯	120	16.7	48.3	16.7	37.5	30.8	1.7
	父子+祖父母世帯	29	17.2	69.0	37.9	34.5	17.2	6.9
現在	母子世帯	1441	10.1	39.8	11.6	44.2	34.4	2.1
	母子+祖父母世帯	218	23.4	66.5	65.1	51.8	6.0	4.1
	父子世帯	120	7.5	40.8	6.7	32.5	42.5	2.5
	父子+祖父母世帯	29	13.8	65.5	31.0	27.6	17.2	6.9

(3) 親以外に頼りになる人

親以外に頼りになる人について(表 6-3)は、「兄弟・姉妹」、「友人」が多くあげられている。一方で、「頼りになる人はいない」という回答も少なくない。「頼りになる人がいない」とするのは、母子世帯、母子+祖父母世帯よりも父子世帯、父子+祖父母世帯のほうが多くなっている。

表 6-3 親以外に頼りになる人

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	子ども・独立した	兄弟・姉妹	友人	近所の人	職場の人	その他	頼りになる人はいない	無回答
母子世帯	1441	7.5	45.5	39.8	4.0	12.7	4.6	26.1	1.5
母子+祖父母世帯	218	4.1	48.6	42.7	3.7	16.1	8.7	18.3	2.3
父子世帯	120	6.7	41.7	15.0	1.7	12.5	4.2	35.0	0.0
父子+祖父母世帯	29	3.4	31.0	20.7	3.4	17.2	3.4	37.9	3.4

(4) 社会的な偏見

表 6-4 はひとり親家庭であるために社会的な偏見を感じたことがあるかについてと社会的偏見を感じた場面を示している。いずれの世帯類型においても、社会的偏見を「感じたことはない」とする世帯は半数ほどとなっている。社会的偏見を感じた場面については、「子どもの親同士の集まり」がもっとも多くあげられている。そのほかに女性(母子世帯、母子+祖父母世帯)では、「就職の面接」、「職場」、「制度を利用する窓口」の順で多くなっている。

る。男性(父子世帯、父子+祖父母世帯)では、「ご近所づきあいの場」があげられている場面として多くなっている。

表 6-4 ひとり親家庭であるために社会的な偏見を感じた場面

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	感じたことはない	口制度を利用する窓	職場	就職の面接	集まり 子どもの親 同士の	場 ご近所づきあいの	親戚の集まり	タ ー V ・ ネ ッ ト な ど イ ン	その他	無回答
母子世帯	1441	47.5	10.3	13.1	16.7	22.1	8.4	7.5	6.3	4.0	4.4
母子+祖父母世帯	218	47.7	9.2	11.0	12.8	22.5	7.8	6.4	8.3	6.0	6.9
父子世帯	120	56.7	4.2	11.7	8.3	27.5	10.8	4.2	3.3	0.8	2.5
父子+祖父母世帯	29	48.3	6.9	3.4	6.9	37.9	10.3	6.9	6.9	0.0	10.3

7. 制度利用

ひとり親家庭に関わる8つの公的な機関や相談員に相談したことがあるかについて(表 7-1)、「相談したことがある・相談している」世帯の割合が高いものは、「公共職業安定所(ハローワーク)」で母子世帯と母子+祖父母世帯で4割程となっている。それ以外については、相談している世帯は1割ないし、それ以下となっている。相談したことがない理由としては、「相談する必要がなかった」という回答が全体的に多くなっているが、「相談先や方法を知らなかった」という回答が次いで多くなっている。「相談先や方法を知らなかった」については、「養育費相談支援センター」と「母子・父子自立支援員」の順で多くなっている。

ひとり親家庭に関わる8つの公的な制度や施設を利用したことがあるかについて(表 7-2)、「利用したことがある、利用している」という回答は、「生活保護」について母子世帯、母子+祖父母世帯でおよそ1割である以外、割合がかなり低い。利用したことがない理由としては、「利用する必要がなかった」がもっとも多くなっているが、「制度やサービスをまったく知らなかった」とする回答が次いで多くなっている。「生活保護」については、母子世帯、母子+祖父母世帯で「利用するのに抵抗感があった」という回答が多くなっている。

表 7-1 ひとり親世帯に関わる機関や相談員の利用経験と認知

		(単位:%)															
	サンプル数(人)	相談したことがある	相談したことがない				無回答		サンプル数(人)	相談したことがある	相談したことがない				無回答		
			か相談したことがある	が相談する必要がなかった	が相談する間に場所など	が相談するに抵抗感					な相談先や方法を知ら	か相談したことがある	が相談する必要がなかった	が相談する間に場所など		が相談するに抵抗感	な相談先や方法を知ら
母子家庭等就業・自立支援センター	母子世帯	1441	14.8	42.1	3.7	7.4	26.2	5.9	母子・父子自立支援員	母子世帯	1441	6.3	46.5	2.9	5.2	32.9	6.2
	母子+祖父母世帯	218	14.2	46.8	3.2	8.3	22.0	5.5		母子+祖父母世帯	218	6.0	51.4	1.4	5.0	28.9	7.3
	父子世帯	120	10.0	54.2	4.2	5.8	23.3	2.5		父子世帯	120	5.8	54.2	6.7	3.3	25.8	4.2
	父子+祖父母世帯	29	6.9	27.6	0.0	17.2	24.1	24.1		父子+祖父母世帯	29	3.4	41.4	3.4	10.3	27.6	13.8
養育費相談支援センター	母子世帯	1441	2.1	41.9	2.6	5.8	41.3	6.3	児童相談所	母子世帯	1441	10.6	54.9	2.4	7.1	18.0	6.9
	母子+祖父母世帯	218	2.3	47.7	1.4	4.6	37.2	6.9		母子+祖父母世帯	218	11.0	58.7	0.9	3.7	18.3	7.3
	父子世帯	120	3.3	57.5	3.3	2.5	30.0	3.3		父子世帯	120	14.2	56.7	2.5	0.8	20.8	5.0
	父子+祖父母世帯	29	0.0	44.8	0.0	10.3	27.6	17.2		父子+祖父母世帯	29	13.8	41.4	0.0	10.3	13.8	20.7
女性相談援助センター(配偶者暴力相談支援センター)	母子世帯	1441	4.2	53.2	1.7	6.0	28.6	6.4	公共職業安定所(ハローワーク)	母子世帯	1441	39.9	37.2	4.8	3.9	9.0	5.3
	母子+祖父母世帯	218	3.2	56.9	0.5	2.3	29.8	7.3		母子+祖父母世帯	218	45.0	34.4	2.3	3.2	9.6	5.5
	父子世帯	120	0.0	70.8	4.2	0.8	16.7	7.5		父子世帯	120	14.2	62.5	3.3	2.5	15.0	2.5
	父子+祖父母世帯	29	0.0	48.3	0.0	10.3	17.2	24.1		父子+祖父母世帯	29	10.3	48.3	3.4	10.3	6.9	20.7
民生委員・児童委員	母子世帯	1441	6.3	48.2	2.1	9.2	27.3	6.9	マザーズハローワーク	母子世帯	1441	15.0	41.2	3.1	3.1	31.8	5.9
	母子+祖父母世帯	218	6.4	52.8	0.5	6.0	26.6	7.8		母子+祖父母世帯	218	17.9	45.9	0.5	3.2	26.6	6.0
	父子世帯	120	3.3	60.8	6.7	2.5	23.3	3.3		父子世帯	120	0.8	71.7	1.7	0.8	19.2	5.8
	父子+祖父母世帯	29	0.0	48.3	0.0	17.2	13.8	20.7		父子+祖父母世帯	29	0.0	44.8	0.0	10.3	20.7	24.1

表 7-2 ひとり親に関わる制度や施設の利用経験と利用したことがない理由

(単位:%)

	サンプル数(人)	利用している	利用したことがない						無回答		サンプル数(人)	利用している	利用したことがない						無回答
			利用する必要があるがなかった	満了していたが条件を	使いたらなかったが制度が	あつた	利用するの抵抗感が	く知らなかった					制度やサービスをまったく	利用する必要があるがなかった	満了していたが条件を	使いたらなかったが制度が	あつた	利用するの抵抗感が	
母子生活支援施設(旧称:母子寮)	母子世帯	1441	1.0	56.8	0.3	1.2	3.7	30.9	6.0	母子世帯	1441	5.3	48.4	2.2	3.9	4.0	29.5	6.7	
	母子+祖父母世帯	218	0.5	61.0	1.4	0.5	1.8	28.9	6.0	自立支援教育訓練給付金	母子+祖父母世帯	218	4.1	50.0	3.7	3.7	2.3	28.9	7.3
	父子世帯	120	2.5	67.5	0.0	1.7	2.5	18.3	7.5	父子世帯	120	0.8	59.2	1.7	0.8	2.5	30.0	5.0	
	父子+祖父母世帯	29	0.0	48.3	0.0	0.0	0.0	24.1	27.6	父子+祖父母世帯	29	0.0	51.7	0.0	0.0	3.4	27.6	17.2	
生活保護	母子世帯	1441	13.3	55.4	6.4	3.0	12.3	4.6	5.0	母子世帯	1441	3.1	50.1	1.2	3.5	2.9	32.3	6.8	
	母子+祖父母世帯	218	9.6	60.6	6.0	1.8	7.8	8.7	5.5	高等職業訓練促進給付金	母子+祖父母世帯	218	2.3	51.8	1.8	3.7	1.4	31.7	7.3
	父子世帯	120	6.7	70.0	3.3	2.5	3.3	9.2	5.0	父子世帯	120	0.8	60.8	0.8	0.8	1.7	30.8	4.2	
	父子+祖父母世帯	29	0.0	55.2	6.9	3.4	3.4	13.8	17.2	父子+祖父母世帯	29	0.0	55.2	0.0	0.0	0.0	27.6	17.2	
生活福祉資金(特例貸付を含む)	母子世帯	1441	7.3	45.5	2.3	2.2	6.9	29.3	6.5	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	母子世帯	1441	0.3	56.6	0.5	1.4	2.1	32.5	6.7
	母子+祖父母世帯	218	3.7	50.5	3.7	0.9	3.7	30.7	6.9	母子+祖父母世帯	218	0.0	57.8	0.0	0.5	1.8	32.6	7.3	
	父子世帯	120	8.3	58.3	1.7	0.8	2.5	24.2	4.2	父子世帯	120	0.8	61.7	0.8	0.8	2.5	28.3	5.0	
	父子+祖父母世帯	29	0.0	48.3	3.4	3.4	3.4	20.7	20.7	父子+祖父母世帯	29	0.0	55.2	0.0	0.0	0.0	27.6	17.2	
母子父子寡婦福祉資金貸付金	母子世帯	1441	4.1	44.1	2.2	3.3	6.5	33.6	6.2	母子世帯	1441	0.6	52.7	0.5	1.9	1.8	35.5	6.9	
	母子+祖父母世帯	218	3.7	48.6	1.8	1.8	4.1	32.1	7.8	高等職業訓練促進資金貸付事業	母子+祖父母世帯	218	0.9	54.1	0.5	2.3	1.8	33.0	7.3
	父子世帯	120	3.3	56.7	1.7	0.8	3.3	29.2	5.0	父子世帯	120	0.8	60.0	0.0	0.8	1.7	31.7	5.0	
	父子+祖父母世帯	29	3.4	37.9	0.0	3.4	3.4	31.0	20.7	父子+祖父母世帯	29	0.0	51.7	0.0	0.0	0.0	31.0	17.2	

8.新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響についてたずねている。

まず仕事への影響について(表 8-1)、「当てはまるものはない」世帯が半数以上となっている。影響としてあげられた項目について、「一時的に仕事を休んだ・休業した」と「勤務日数や労働時間が減った」が多くなっている。

回答者の生活や体調への影響について(表 8-2)は、母子世帯と母子+祖父母世帯のほうが、父子世帯と父子+祖父母世帯よりも該当する項目が多くなっている。あげられた項目について、「気持ちが沈みがちになった」がもっとも多い。母子世帯、母子+祖父母世帯では、次いで「病院にかかりにくくなった」、「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」、「体調をくずした・くずしやすくなった」の順が多い。父子世帯、父子+祖父母世帯では、「気持ちが沈みやすくなった」の次に多くあげられた項目が「子育てや子どもに使う時間が増えた」となっている。

子どもへの影響について(表 8-3)は、「遊びや友だちづきあいに支障がでた」、「学習に支障がでた」、「生活リズムがくずれた」が多くあげられている。また、「体力が落ちたり、ケガをしやすくなった」については母子世帯と母子+祖父母世帯、「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」については母子世帯で該当するとした世帯が1割ほどとなっている。

家計への影響について(表 8-4)は、「収入が減った」とする世帯が3~4割、「貯蓄が減った」とする世帯が2割前後となっている。また父子+祖父母世帯を除き、「借金が増えた」とする世帯が1割となっている。

表 8-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、仕事への影響

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	自ら仕事をやめた	会社から解雇された	勤めた先が廃業・倒産	勤務日数や労働時間が減った	勤務日数や労働時間が増えた	一時的に休業した仕事を休んだ	給料の遅れがなかった	給料の払いや支払	その他	当てはまるものはない	無回答
母子世帯	1441	3.3	1.9	1.0	18.6	6.0	23.0	0.3	4.9	53.0	1.9	
母子+祖父母世帯	218	5.5	0.9	1.8	17.9	5.5	14.7	0.5	5.0	56.4	3.7	
父子世帯	120	1.7	0.8	1.7	15.8	10.0	19.2	1.7	2.5	55.0	3.3	
父子+祖父母世帯	29	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	17.2	0.0	0.0	65.5	10.3	

表 8-2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、生活や体調への影響

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	体調をくずした	気持ちが沈みがちになった	病院にかかりにくくなった	子育てや子どもに使う時間が増えた	子どもに注意したり怒ったりすることが増えた	友人や知人に相談ごとをする機会が減った	その他	当てはまるものはない	無回答
母子世帯	1441	15.0	30.7	23.2	13.7	17.6	14.2	3.2	35.7	2.4
母子+祖父母世帯	218	15.1	26.6	21.1	10.1	15.6	12.4	4.1	40.8	2.8
父子世帯	120	8.3	21.7	14.2	15.0	10.0	6.7	1.7	53.3	1.7
父子+祖父母世帯	29	3.4	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	69.0	10.3

表 8-3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、子どもへの影響

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちづきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	体力が落ちたり、ケガをしやすいようになった	精神的に不安定になったり、ふさがり込むことが増えたり	当てはまるものはない	その他	無回答
母子世帯	1441	26.5	15.5	34.4	27.6	10.5	13.3	30.7	5.0	2.0
母子+祖父母世帯	218	20.6	13.3	35.3	20.6	11.0	7.3	40.4	3.7	1.8
父子世帯	120	26.7	6.7	25.0	23.3	5.8	7.5	41.7	2.5	3.3
父子+祖父母世帯	29	24.1	17.2	37.9	17.2	3.4	3.4	34.5	0.0	6.9

表 8-4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、家計への影響

(複数回答,単位:%)

	サンプル数(人)	収入が減った	収入が増えた	貯蓄が減った	貯蓄が増えた	借金が増えた	借金が減った	その他	当てはまるものはない	無回答
母子世帯	1441	28.1	2.0	24.2	2.1	9.7	0.1	3.0	46.9	2.2
母子+祖父母世帯	218	28.4	2.8	19.7	1.4	11.5	0.0	2.8	48.2	3.2
父子世帯	120	31.7	3.3	23.3	1.7	15.8	1.7	0.8	45.0	0.8
父子+祖父母世帯	29	44.8	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	3.4	44.8	6.9

9. ひとり親家庭の現状について日ごろ感じることや、福祉制度についての意見要望

ひとり親家庭の現状について、日ごろ感じることや児童扶養手当や生活保護をはじめとする福祉制度についての要望や意見について、自由記述で回答を求めた。ここでは、書かれた内容の大まかなカテゴリーと自由記述のいくつかを抜粋する。

- ・児童扶養手当に関して(手当の額、手当の支給月、支給対象) ・収入基準の判定について
- ・住居に関して ・生活保護に関して ・手当や生活保護の受給に関する不公平感
- ・家計に関して(物価上昇) ・離婚前後に関して ・役所の対応について ・制度の情報に関して
- ・養育費に関して ・社会的偏見に関して ・就労に関して ・教育費に関して ・医療費に関して
- ・子どもの世話・家事に関して ・コロナに関して ・本調査に関して

「児童扶養手当受給の収入のハードルをもっと下げて欲しい。欲を言えば金額も上げてほしい。物価が上がっているのに収入は増えず、児童扶養手当も満額でないとなると、ひとり親家庭はかなりキツイ。ただ児童扶養手当のおかげで今のところ子供に不自由な生活をさせてあげられるので、この制度には心から感謝しています。」

「児童扶養手当の所得制限を撤廃してほしい。働けば働くほど手当が減ったり、支給されなくなる。所得が増えたからといって家事育児の負担が減るわけではないし、時間に余裕もなければ生活にゆとりがあるわけではない。児童扶養手当が支給されなくなることで、学校での就学援助が受けられなくなったり、結果として経済的な負担が大きくなる」

「毎年、市営住宅に申し込みをしているが入居できず、民間のアパートで暮らしている。家賃が安ければ生活は安定できると思うので、市営や道営住宅はひとり親家庭が優先的に入居できるようにしてほしい。または住居費補助があれば良いと思う。」

「まず児童扶養手当がなければ暮らせていないので助かっています。生活保護で車を持っていないのは変わらないと思うけど、4人分の家族の買い物を手で持って歩くのは絶対に現実的ではないと思う。何か仕事になる事を考えようにも、それだけで時間も気力も奪われてしまう。そうすると、そこから這い上がるのはとても困難だと思う」

「働くとたくさんの税金を取られ、時間も取られ、制度は何も使えなくなる。子供との時間を取るために仕事を減らすと生活は苦しくなる。国からの援助は受けられるが借金をするしかなくなる。子供の大学教育費の奨学金も給付型が受けられず、ひとり親で年間100万円以上の授業料は払えない。この先自分の借金がどこまで増えるのか不安で仕方がない。DVと虐待の為の離婚だったので命を守るために別れたが、我慢して生活していた方が良かったのかと思う事もある」

「ひとり親になってストレスフリーに生きられて、ひとり親＝ネガティブという間違った偏見を持っていたと感じている。離婚したいのに踏み切れないお母さん達に、支援センター等の存在やもっと気軽に相談できる場をアピールして貰えたら、誰も行きすぎた我慢をせずに済むようになると思います」

「利用できる制度をこちらから聞かなくても、もっと役所で説明してほしい、教えてほしい、知らないことは意外とある」

「この調査票在中の封書、大きな字で「ひとり親実態調査」と書かれると悲しい。人目が気になった。もう少し考えてほしい」

Ⅲ 資料編

「ひとり親家庭生活実態調査」 調査票

北海道ひとり親家庭生活実態調査

>> アンケートご協力のお願い

このアンケートは、ひとり親家庭の方々を対象に、生活実態及び要望事項などを把握し、子育て、生活、就労などの支援について考える参考にさせていただくためのものです。

ご協力くださいますようお願いいたします。

>> 回答にあたってのお願い

- 回答はすべて統計的に処理し、個人の情報が特定されることはありません。
- この調査は無記名です。氏名を記入いただく必要はありません。
- 調査票は、ご本人が記入してください。
- 黒色のえんぴつやシャープペンシル、ボールペン（黒または青色）で回答してください。
- 令和4年7月1日現在の状況でお答えください。
- あてはまる番号を○（マル）でかこんでください。設問によって、1つのみに○をつけるもの、複数に○をつけるもの、具体的な内容を書いていただくものがあります。
- お答えになりたくない質問に回答する必要はありません。次の質問にお進みください。

>> 提出の方法

- 記入がおわった調査票は、返信用の封筒に入れて封をし、直接ポストに投函してください。
- 封筒には調査票のみ入れてください。
- 封筒に氏名を記入いただく必要はありません。
- アンケートの回答内容が、児童扶養手当の決定に影響することはありません。

>> 個人情報の保護

- 調査票、返信用の封筒にお名前をお書きいただく必要はありません。
- 回収や集計・分析は、北海道と北海道大学で行います。
- 個人情報の漏えいがないように、調査票等は厳重に管理することをお約束します。
- 調査票には自由回答の設問もありますが、個人が特定される可能性がある記述については、匿名化の作業を行った上で、集計・分析を進めます。

このアンケートは、北海道と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターの研究チームが共同で作成したものです。

調査に関するお問い合わせ等は以下までお願いいたします。

北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課自立支援係

電話番号：011-206-6328

自治体コード	
--------	--

1 あなたご自身とご家族についておうかがいします

(1) あなたの世帯は次のどちらに当てはまりますか。当てはまる数字 1つに○ をつけてください。

1. 母子世帯 2. 父子世帯

(2) あなたの年齢を教えてください。当てはまる数字 1つに○ をつけてください。

1. ～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳
6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳 10. 60～64歳
11. 65歳以上

(3) あなたの世帯は、あなたも含めて何人ですか。別居であっても生計が同じ家族（下宿やひとり暮らしのお子さんなど）も含みます。

[]人

(4) あなたと生計が同じお子さんについておうかがいします。それぞれのお子さんについて、例を参考に下の表にお書きください。

通っている学校などについて、「現在の状況コード」のうち、当てはまる数字 1つをお書きください。また、下宿などで別に暮らしているお子さんについては、「別居」に○をつけてください。

	あなたとの続柄	年齢（令和4年7月1日現在）	現在の状況コード ^注	別居
例1	長女	19歳	10	<input checked="" type="radio"/> 別居
例2	二女	11歳	5	<input type="radio"/> 別居
1		歳		<input type="radio"/> 別居
2		歳		<input type="radio"/> 別居
3		歳		<input type="radio"/> 別居
4		歳		<input type="radio"/> 別居
5		歳		<input type="radio"/> 別居
6		歳		<input type="radio"/> 別居
7		歳		<input type="radio"/> 別居
8		歳		<input type="radio"/> 別居

注) 【現在の状況コード】※それぞれのお子さんに当てはまる数字 1つをお書きください。

- 0：どこにも通っていない 1：働いている 2：保育所 3：幼稚園 4：認定こども園
5：小学校 6：中学校 7：高校 8：高等専門学校 9：短期大学 10：専門学校
11：大学・大学院 12：その他

(5) あなたの世帯（生計が同じ人）には、お子さんの祖父母にあたる人は含まれますか。当てはまる数字 1つに○ をつけてください。

1. 含まれる 2. 含まれない

(6) あなたの世帯（生計が同じ人）には、親せきや同居人などは含まれますか。当てはまる数字 1つに○ をつけてください。

1. 含まれる 2. 含まれない

② (10)の①で「1. あった」と答えた方におうかがいします。その理由として当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 様子をみていたら受診せずに回復したため
2. 子どもが嫌がった
3. 子どもが忙しかった
4. 自分の健康状態が悪く連れて行けなかった
5. 仕事で連れて行く時間がなかった
6. 他の子どもの世話で連れて行く時間がなかった
7. 病院が遠いため
8. お金がなかった
9. 保険証がなかった
10. その他 ()

③ 過去1年間に、あなたが病院や歯医者に行きたいのにいけなかったことがありますか。どちらか1つに○をつけてください。

1. あった
2. なかった

④ 上の③で「1. あった」と答えた方におうかがいします。その理由として当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 仕事で時間がなかった
2. 子どもの世話で時間がなかった
3. 病院が遠いため
4. お金がなかった
5. 保険証がなかった
6. その他 ()

(11) あなたのお住まいとして当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 民間賃貸住宅 (借家、アパート、マンション)
2. 公営住宅 (道・市・町村)
3. 両親などの家に同居
4. 持家 (一戸建て、分譲マンションなど)
5. その他 ()

(12) あなたの家には、通勤や買い物、子どもの送りむかえなどに使える車はありますか。どちらか1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

2 現在のあなたのお仕事についておうかがいします

(13) あなたは現在、働いていますか。どちらか1つに○をつけてください。

1. 働いている
2. 働いていない

※ 次の(14)から(19)までは、現在「1. 働いている」方のみお答えください。

「2. 働いていない」方は5ページの(20)からお答えください

(14) あなたの仕事は次のうちのどれですか。もっとも近い数字1つに○をつけてください。

(2つ以上の仕事をしている方は、主となる勤め先についてお答えください。以下(18)までは、ここで答えいただいた仕事についてお答えください)

1. 専門的・技術的職業 (保育士、看護師、介護福祉士、製造・通信ネットワーク技術者など)
2. 事務 (一般事務、会計事務など)
3. 生活衛生サービス従事者 (理美容師、調理師など)
4. 飲食サービス従事者 (飲食店、旅館などでの接客や店長)
5. 店員 (スーパー、コンビニの店員など)
6. 営業・セールス (営業職、保険外交員など)
7. 製造・建設業 (組立、修理などの従事者含む)
8. 運輸・通信 (職業運転手、荷役など運輸従事者、通信従事者など)
9. 農・林・水産業
10. 管理的職業 (会社役員、管理職など)
11. その他 ()

(15) 勤め先での雇用形態について、当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 正規の職員・従業員
2. 臨時 (季節雇用を含む)・パートタイマー
3. 派遣社員・契約社員・嘱託
4. 自営・内職・家族従事者
5. その他 ()

(16) いまの仕事はどのようにしてみつめましたか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. ハローワーク
2. 新聞広告
3. アルバイト情報誌など
4. 友人・知人の紹介
5. 親・親戚の紹介
6. 学校の紹介
7. 家業を継いだ
8. 母子家庭等就業・自立支援センターの紹介
9. その他 ()

(17) いまの仕事について、悩みや不安はありますか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 朝が早い
2. 帰りが遅い
3. 通勤時間が長い
4. 勤務時間が長い
5. 夜勤や交替勤務がある
6. 残業が多い
7. 休みが取りにくい
8. 収入が少ない
9. 資格をいかせない
10. 雇用や身分が不安定
11. 雇用期間が限られている
12. 昇給・昇進が遅い
13. 先の見通しがもちにくい
14. ノルマが厳しい
15. 仕事の内容
16. 職場の人間関係
17. パワハラやセクハラ
18. その他 ()
19. とくに悩みや不安はない

(18) 今後もいまの仕事をつづけますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. いまの仕事をつづけたい
2. 仕事の内容や部署をかえたい
3. 勤め先をかえたい
4. 正規職員の仕事にかえたい
5. パートの仕事にかえたい
6. 仕事をやめたい
7. その他 ()

(19) あなたは、ここまでうかがった主な仕事のほかにも、別の仕事（副業）をしていますか。当てはまる数字 1つに○をつけてください。さしつかえない範囲で仕事の内容を具体的にお書きください。

1. 別の仕事はしていない
2. 別の仕事もしている→内容[]

<次の(20)から(22)までは、現在「2. 働いていない」方のみお答えください。それ以外の方は、(23)からお答えください>

(20) 現在、働いていない理由について、当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 子育てのため
2. 保育園がみつからない
3. 自分の心身の健康上の理由
4. 親や病人の世話・介護
5. 仕事が見つからない
6. 働かなくても生活できる
7. 学校に通っている・職業訓練中
8. その他 ()

(21) 今後、仕事につきたいと思えますか。当てはまる数字 1つに○をつけてください。

1. いま、仕事をさがしている
2. いま、仕事につくための技能・資格などを訓練中
3. そのうち仕事につきたい
4. できれば仕事をしたくない
5. 仕事につくつもりはない
6. いまのところわからない
7. その他 ()

(22) 上の(21)で「1. 仕事をさがしている」、「2. 技能・資格の訓練中」、「3. そのうち仕事につきたい」方は、どのような仕事につきたいですか。もっとも近い数字 1つに○をつけてください。

1. 自分で商売や事業をしたい
2. 家族などの商売や事業を手伝いたい
3. 正社員・正職員として働きたい
4. パートとして働きたい
5. 家庭内で内職をしたい
6. その他 ()

3 家計の状況についておうかがいします

(26) あなたのご家庭のふだんの家計について、もっとも近い数字1つに○をつけてください。(住宅ローンや車のローンも支出に含めてお答えください)

1. 黒字であり毎月貯金をしている
2. 黒字ではあるが貯金はしていない
3. 黒字でも赤字でもなくぎりぎりである
4. 赤字であり貯金をとりくずしている
5. 赤字であり借金をして生活している

(27) 過去1年間に、経済的な理由で、次のようなことがありましたか。①から③のそれぞれについて、当てはまる数字1つに○をつけてください。

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
① 家族が必要とする食料を買えなかった	1	2	3	4
② 家族が必要とする衣服を買えなかった	1	2	3	4
③ 冬に暖房が使えなかった	1	2	3	4

(28) 過去1年間に、経済的な理由で、次の支払いができなかったことがありましたか。①から⑨のそれぞれについて、当てはまる数字1つに○をつけてください。

	あった	なかった	払う必要がない
① 電話料金 (携帯電話・スマートフォン含む)	1	2	3
② 電気・ガス・水道のいずれかの料金	1	2	3
③ 家賃・住宅ローンのいずれかの支払	1	2	3
④ 公的年金	1	2	3
⑤ 公的医療保険	1	2	3
⑥ 税金	1	2	3
⑦ 給食費	1	2	3
⑧ 学校や幼稚園・保育所へのその他の支払	1	2	3
⑨ クレジットカードや他の借金の支払	1	2	3

(29) あなたの世帯の収入の内訳について、当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. あなたの就労収入
2. あなた以外の家族の就労収入
3. 児童扶養手当
4. 児童手当
5. 遺族年金
6. その他の年金・手当
7. 生活保護費
8. 元配偶者からの養育費・仕送り
9. 親・きょうだいなどからの仕送り
10. 家賃・地代・利子などの収入
11. その他 ()

(30) あなたの世帯の年収(税込)は、およそいくらですか。(29)のすべての合計で、当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満
8. 350～400万円未満
9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満
11. 500～550万円未満
12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満
14. 650～700万円未満
15. 700万円以上

(31) (29)のうち、もっとも金額の大きいもの(年収に占める金額の大きいもの)の数字をお書きください。

[]

(32) あなたは児童扶養手当を受給していますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 全部支給 2. 一部支給 3. 受給していない

(33) あなたのご家庭は、住民税非課税世帯ですか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 非課税世帯である 2. 非課税世帯ではない 3. わからない

(34) 現在の貯金額（子ども名義のものを含む）はどのくらいですか。当てはまる数字1つに○をつけてください。（国債や貯蓄型・積立型の保険なども含みます）

1. 貯金はない 2. 10万円未満 3. 10～50万円未満 4. 50～100万円未満
5. 100～200万円未満 6. 200～300万円未満 7. 300～500万円未満
8. 500～1千万円未満 9. 1千万円以上

(35) 現在、ローンや借金の返済（クレジットカードの分割払いやリボ払いを含む。一括払は除く）はありますか。ある場合は何のためのものですか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 借金はない（2～11に当てはまるものはない） 2. 自分の教育費（奨学金・教育ローンなど）
3. 子どもの教育費 4. 住宅のため 5. 自動車・オートバイの購入 6. 他の大きな買い物
7. 生活費の不足をおぎなうため 8. 滞納金や他の借金の返済のため 9. 事業のため
10. 弁護士や司法書士への支払いのため 11. その他（ ）

4 子育てについておうかがいします

(36) 小学校入学前のお子さんについて、ふだんの日中の世話は、主に誰がしていますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 小学校入学前の子はいない 2. 保育所・託児所 3. 幼稚園 4. あなた自身
5. 同居の親・親せき 6. 同居していない親 7. 親以外の同居していない親せき
8. 友人・知人・近所の人 9. 子ども・きょうだいだけです 10. その他（ ）

(37) 小学生のお子さんについて、ふだんの放課後の世話は主に誰がしていますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 小学生の子はいない 2. 学童保育・児童館 3. あなた自身 4. 同居の親・親せき
5. 同居していない親 6. 親以外の同居していない親せき 7. 友人・知人・近所の人
8. 子ども・きょうだいだけです 9. その他（ ）

(38) ふだんの食事についておうかがいします。①から②のようなことは週のうちのどのくらいありますか。それぞれ当てはまる数字1つに○をつけてください。

	ほとんど毎日	週に半分くらい	ほとんどない
① 子どもと朝食をいっしょにとること	1	2	3
② 子どもと夕食をいっしょにとること	1	2	3

(39) お子さんのことで悩んでいることはありますか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 子どもとの団らんや話し合いの時間がもてない 2. 親子関係 3. 子どもの病気や障がい
4. 子どもの発達やしつけ 5. 保育園や学校でのようす 6. 子どもの友だち関係
7. 子どもの学習や進路 8. 子どもの不登校やひきこもり
9. いじめ 10. 子どもの非行 11. 子どもの就職
12. その他（ ） 13. とくに悩みはない

(45) お子さんに期待する最終学歴として、あなたの考えにもっとも近い数字1つに○をつけてください。

1. 中学
2. 高校
3. 高等専門学校
4. 短期大学
5. 専門学校
6. 大学卒業以上
7. まだわからない
8. その他 ()

5 ひとり親家庭になった前後の生活などについておうかがいします

(46) ひとり親家庭になる前の時期に、次のようなことがありましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 失業・不就労の問題
2. ギャンブルの問題
3. アルコールや薬物の問題
4. 借金の問題
5. 主な稼ぎ手が生活費を入れない問題
6. 子どもへの暴力・虐待
7. 子どもの病気や障がい
8. 元配偶者の病気や障がい
9. あなたの病気や障がい
10. 元配偶者からのあなたへの暴言・暴力
11. 当てはまるものはない

(47) あなたがひとり親になった理由について、当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 離別（協議中などを含む）
2. 死別
3. 未婚
4. 非婚
5. その他 ()

(48) ひとり親家庭になってから現在まで、何年になりますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 1年未満
2. 1～2年未満
3. 2～3年未満
4. 3～4年未満
5. 4～5年未満
6. 5～10年未満
7. 10～15年未満
8. 15年以上

(49) ひとり親家庭での生活をはじめる前後で対応が難しかったこと、困ったことは何ですか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 住居を探すこと
2. 仕事を探すこと
3. 当面の生活費を確保すること
4. 子どもが転校先になじめなかったこと
5. 子どもの保育園を探すこと
6. 自分が心身の健康をくずしたこと
7. 子どもが心身の健康をくずしたこと
8. 相談先や利用できる制度がわからなかったこと
9. 元配偶者からの暴力
10. その他 ()

(50) ひとり親家庭での生活をはじめるにあたり、相談又は利用したところがありますか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 家庭裁判所
2. 弁護士・司法書士
3. 法テラス(日本司法支援センター)
4. 母子家庭等・就業自立支援センター
5. 配偶者暴力相談支援センター
6. 市役所・役場の窓口
7. 母子・父子自立支援員
8. NPO法人等の相談機関
9. その他 ()
10. 相談も利用もしていない

(51) 市役所・役場などから受け取りたい情報や相談したいことなどはありますか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 仕事や資格に関すること
2. 子育てに関すること
3. 養育費の受け取りに関すること
4. 教育費・奨学金に関すること
5. 住宅に関すること
6. 自分の健康に関すること
7. 支払いの滞納や借金に関すること
8. その他 ()
9. 特にない

(52) ひとり親家庭での生活をはじめるにあたり、市町村窓口での手続きや母子・父子自立支援員との相談についてどのような感想をお持ちですか。①から⑤のそれぞれについて、当てはまる数字1つに○をつけてください。

	とても そう思う	そう思う	どちらで もない	あまり 思わない	まったく 思わない
① 必要な制度などを紹介してもらえた	1	2	3	4	5
② 悩みや不安を聞いてもらった	1	2	3	4	5
③ 相談しやすい雰囲気や対応だった	1	2	3	4	5
④ 相談先や手続きがわかりやすかった	1	2	3	4	5
⑤ 場所や時間が相談に行きやすいものだった	1	2	3	4	5

より良い相談のあり方を考えるために、ご意見などありましたら自由にお書きください。

()

(53) 元配偶者（子どもの親）から財産の分与はありましたか。当てはまる数字1つに○をつけてください。（死別された方は、財産を受け取ったかどうかにもとづいて回答してください）

1. 財産分与があった 2. 財産分与がなかった 3. 財産自体がなかった
4. 相手の借金を払うこととなった 5. その他 ()

(54) 元配偶者（子どもの親）から養育費をうけとっていますか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 現在も定期的にうけとっている 2. 不定期だが現在もうけとっている
3. うけとったことがあるが、現在はうけとっていない 4. うけとったことがない
5. その他 () 6. 該当しない（死別等）

(55) 現在、養育費を定期的あるいは不定期に「うけとっている」方におうかがいします。養育費の金額は決まっていますか。決まっている場合は1か月あたりいくらですか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 金額は決まっていない 2. 2万円未満 3. 2～3万円未満
4. 3～4万円未満 5. 4～5万円未満 6. 5～7万円未満
7. 7～10万円未満 8. 10～15万円未満 9. 15万円以上
10. 該当しない（死別等）

(56) 養育費について元配偶者（子どもの親）と話し合いをしましたか。当てはまる数字1つに○をつけてください。

1. 文書を交わして取り決めをしている 2. 文書は交わしていないが、取り決めをしている
3. 取り決めはしていない 4. 話し合い自体していない 5. 該当しない（死別等）

(57) 養育費に関する話し合いにおいて、以下のようなことがありましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 自分が話し合いをもちたくなかった 2. 相手が話し合いに応じなかった
3. 相手に支払う意志や支払能力がなかった 4. 話し合いがまとまらなかった
5. 相手が支払わない・支払えないと思った 6. 養育費を請求できることを知らなかった
7. 交渉中である（予定を含む） 8. その他 ()
9. 該当しない（死別等）

7 公的制度などの利用についておうかがいします

(62) これまでに、以下のような機関や相談員に、相談をしたことがありますか。また、相談したことがない場合はその理由にもっとも近い数字に○をつけてください（①～⑧のそれぞれについて、当てはまる数字1つに○をつけてください）。

※ 制度説明は依頼文の裏面参照。

	相談している 相談したことがある	相談したことがない			
		相談する必要がな かった	相談時間や場所な どが使いづらかつた	相談するのに抵抗 があった	相談先や方法を知 らなかった
①母子家庭等就業・自立支援センター	1	2	3	4	5
②養育費等相談支援センター	1	2	3	4	5
③女性相談援助センター (配偶者暴力相談支援センター)	1	2	3	4	5
④民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
⑤母子・父子自立支援員	1	2	3	4	5
⑥児童相談所	1	2	3	4	5
⑦公共職業安定所（ハローワーク）	1	2	3	4	5
⑧マザーズハローワーク	1	2	3	4	5

(次ページへ続く)

(63) これまでに、以下の制度や施設を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由にもっとも近い数字に○をつけてください（①～⑧のそれぞれについて、当てはまる数字1つに○をつけてください）。

※ 制度説明は依頼文の裏面参照。

	利用したことがある・利用している	利用したことがない				
		利用する必要がなかった	利用した条件を満たしていなかった	利用したかったが制度が使いづらかった	利用したかったが利用するのに抵抗があった	制度やサービスをまったく知らなかった
①母子生活支援施設（旧母子寮）	1	2	3	4	5	6
②生活保護	1	2	3	4	5	6
③生活福祉資金（特例貸付を含む）	1	2	3	4	5	6
④母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6
⑤自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5	6
⑥高等職業訓練促進給付金	1	2	3	4	5	6
⑦高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1	2	3	4	5	6
⑧高等職業訓練促進資金貸付事業	1	2	3	4	5	6

8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響についておうかがいします

(64) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの仕事はどのような影響を受けましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 自ら仕事をやめた
2. 会社から解雇された
3. 勤め先が廃業・倒産した
4. 勤務日数や労働時間が減った
5. 勤務日数や労働時間が増えた
6. 一時的に仕事を休んだ・休業した
7. 給料の不払いや支払いの遅れがあった
8. その他（ ）
9. 当てはまるものはない

(65) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの生活や体調はどのような影響を受けましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 体調をくずした・くずしやすくなった
2. 気持ちが沈みがちになった
3. 病院にかかりにくくなった
4. 子育てや子どもに使う時間が増えた
5. 子どもに注意したり怒ったりすることが増えた
6. 友人や知人に相談ごとをする機会が減った
7. その他（ ）
8. 当てはまるものはない

(66) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたのお子さんはどのような影響を受けましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 学習に支障がでた
2. 習い事などに支障がでた
3. 遊びや友だちづきあいに支障がでた
4. 生活リズムがくずれた
5. 体力が落ちたり、ケガをしやすくなった
6. 精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた
7. 当てはまるものはない
8. その他 ()

(67) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの家計はどのような影響を受けましたか。当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 収入が減った
2. 収入が増えた
3. 貯蓄が減った
4. 貯蓄が増えた
5. 借金が増えた
6. 借金が減った
7. その他 ()
8. 当てはまるものはない

(68) ひとり親家庭の現状について、日ごろ感じることや児童扶養手当や生活保護をはじめとする福祉制度についての要望や意見などがありましたら、自由にお書きください。

<以上でおわりです。長時間ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。>

2022年 北海道 ひとり親家庭生活実態調査 報告書

発行年月：2023年 3月

発行：北海道保健福祉部
子ども未来推進局子ども子育て支援課

編集：北海道大学大学院教育学研究院附属
子ども発達臨床研究センター

